

## ■ 授業の開講について

- (1) 学期  
 本学では、1つの学年を前期と後期に分け、学期ごとに単位を修得し、8学期(4年間)を積み重ねて卒業要件を満たす、セメスター制をとっています。
- (2) 授業の開講形式  
 各授業科目は、次の3つのうち、いずれかの開講形式をとっています。
  - ・半期開講：前期または後期の半年間で授業が完結される。
  - ・通年開講：前期、後期を継続して授業が行われる。
  - ・集中(不定期)開講：前期又は後期に集中的(不定期)に授業が計画される。

## ■ 授業科目・単位制について

- (1) 授業科目  
 本学の授業科目は次のいずれかに指定され、各年次に配当されています。
  - 【必修科目】：各領域(コース)専門の学修として修得しなければならない科目
  - 【選択科目】：特定されている科目の中から自由に選んで履修できる科目
  - 【資格課程必修科目】：教育課程以外として取り扱われる資格課程科目  
 単位修得があっても卒業要件単位に充当されません。
- (2) 単位制度について  
 大学における学修は、単位制で行われています。
  - ①単位制  
 単位制とは、修業年限(最低4年間)中に、卒業に必要な単位数を修得する制度です。
  - ②単位 授業時間  
 すべての授業科目に、単位数を設定しています。単位とは、科目を修得するために必要な学修量(時間)を数値で表したものです。本学では、1単位の授業科目を45時間の学修(授業時間+自習時間)を必要とする内容をもって構成することとし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間に必要な学修等を考慮して次の基準により計算します。  
**本学では、1時限を2時間として計算しています。**

授業種別	学修量
講義演習 2単位科目	原則として30時間の授業時間と60時間の自習時間をもって2単位とする。 (授業2時間+自習4時間)×15週 = 90時間 = 2単位
実技実習 2単位科目	原則として90時間の授業時間をもって2単位とする。 (授業6時間)×15週 = 90時間 = 2単位

- ③単位の認定  
 登録した科目を履修し終えた者に対して科目担当者が成績を評価し単位を認定します。
  - 1) 単位は、授業科目を履修し、その試験に合格した者に与えられます。
  - 2) 成績評価及び単位認定は、科目担当者が授業中の学修状況や試験で判断されます。
  - 3) 履修した科目の成績は原則として、次学期の登録期間に発表します。
  - 4) 修得した単位を取り消すことはできません。また、再履修もできません。

## 履修登録

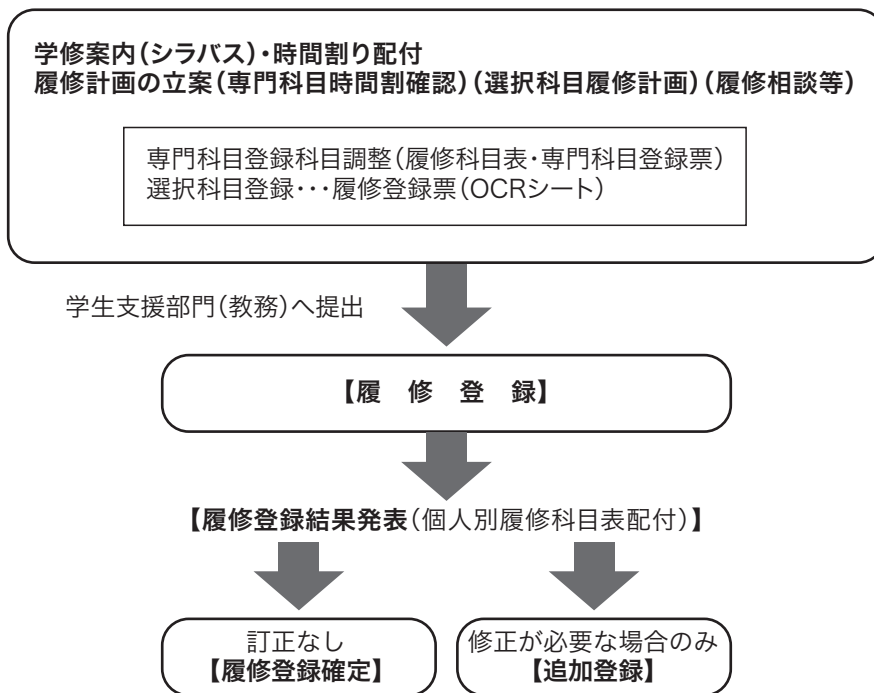
大学における学修の特徴は、多くの授業科目の中から学生一人ひとりが履修科目を選択できることです。大学での学び方を、自らはっきりと定め、履修要項やシラバスを熟読し、時間割表を活用して履修(学修)計画を立てましょう。

### (1) 履修登録について

履修登録は、自らの履修(学修)計画に基づき、授業科目について履修(授業を受ける)の意志表示をすることです。履修登録をしていない場合、その科目の履修が許可されません。履修登録ができていないことに気づかず受講していた場合、受講は無効となり単位も修得できません。

### (2) 履修登録の流れ

履修登録する科目は、自ら決定し、登録します。履修登録に関するガイダンスを、前期と後期の学期始めに年2回実施します。履修登録は定められた期間内で行います。



### (3) 履修登録の注意点

- ①必ず本人が責任を持っておこなってください。代理手続きは認めません。所定の期日までに履修手続きをおこなわなかった場合は、その学期の履修を放棄したものとみなします。
- ②履修登録は、原則として学期初めにおこないますが、一部、後期履修科目(集中講義など)の登録を年度初めや学期途中におこなう場合もありますので、注意してください。
- ③履修登録した科目以外の履修・単位認定は認められません。
- ④1つの時限に履修登録できる科目は1科目です。同一時限に重複して履修登録した場合は、重複している全ての科目が登録無効となります。(ただし、隔週開講科目を除く)
- ⑤必修の専門科目は、原則として所定年次に配当された科目を履修するものとし、上級年次に配当された科目を履修することはできません。
- ⑥学部共通基本科目(選択科目)は、履修年次を問いませんが、『学修案内(シラバス)』に履修年次が記されているものについては、その年次に履修することを原則とします。
- ⑦すでに単位を修得した科目は、再度履修登録はできません。
- ⑧履修登録が確定後の科目の変更、追加、取り消しは原則として認められません
- ⑨1科目の履修希望者が受講可能人数をこえた場合、受講者数を制限します。
- ⑩半期で履修登録する総単位数は前期後期とも各20単位が適性と判断していますが、24単位を上限として登録を認めています。科目の開講形態により、上限単位を超えて登録できる科目もあります。(通年科目は単位数の1/2で計算)また、履修指導上必要と認める場合に上限単位数を超えて登録を許可することがあります。なお、「単位互換事業による他大学開講の科目」「博物館に関する科目」および「教職に関する科目」はこの単位数に含まれません。
- ⑪学芸員課程、教職課程を履修登録する場合は、事前に履修の届けと納金の手続きを済ませなければなりません。詳しくは各課程のガイダンスを参考にしてください。
- ⑫履修登録後、所定の日時に「履修登録確認表(個人別履修科目表)」を交付します。各自確認をし、修正が必要な場合は所定の期日までに学生支援部門に申し出てください。この確認と申告を怠ったために生じる事態は、すべて学生各自の責任となります。
- ⑬2年生以上の学生で、所属しているコースや領域以外の専門科目を選択科目として履修を希望する場合は、所属する領域および履修を希望する科目の担当教員の許可が必要です。また、願出用紙は各学期の指定された履修登録期間に申し出る必要があります。
- ⑭3年次編入生は、他大学(短期大学などを含む)で修得した単位(既修得単位)のうち62単位を上限に本学で修得した単位として認定します。
- ⑮次に該当する場合、他大学(短期大学などを含む)で修得した単位を本学で修得した単位として認定する場合があります。この場合の認定単位数は、大学コンソーシアム京都・環びわ湖大学・地域コンソーシアムの単位互換事業における他大学開講授業、および本学の交換留学生制度により留学する外国の大学において修得した単位とあわせて60単位を超えない範囲となります。

- a) 他大学（短期大学などを含む）を卒業し、1年次から本学に入学した場合（認定は入学時です。必ず単位修得証明書を提出してください）。
- b) 他大学（短期大学などを含む）を中途退学し、1年次から本学に入学した場合（認定は入学時です。必ず単位修得証明書を提出してください）。
- ⑯次に該当する学生は、履修登録に際して必ず領域教員に履修相談を受けてください。
- a) 前年度に必修科目の単位を修得できなかったため再履修する場合
- b) 過去に修得できなかった必修科目を指定領域外で履修する場合
- ⑰その他、履修に関する相談は、学生支援部門にお問い合わせください。
- \*受講登録した学生は、成績評価対象者となります。登録確定した科目については、確実に学修していきましょう。

#### (4) 履修の取消について

受講した科目の内容やレベルが登録時の予想と違う、健康上の理由で出席できないなどやむを得ない理由で履修中止を希望する場合は、履修取消（中止）届に理由を添えて提出します。

①履修の取消は、所定の期間に手続きをしなければなりません。

前期・・・4月下旬 後期・・・9月下旬

②履修を取り消した科目をその学期中に再登録することはできません。ただし、次学期以降に改めて履修登録することは可能です。

③次の科目は原則履修取消ができません。

- ・専門科目
- ・単位互換事業科目（大学コンソーシアム京都・環びわ湖大学・地域コンソーシアム）
- ・資格課程必修科目
- ・インターンシップ科目

\*履修取消科目数が多い学生は、次学期登録時に履修相談をして適正な履修計画について指導を受けてください。

## 授業

### (1) 授業時間

本学の授業時間は、年間を通じて下記の通りです。

1時限	2時限	昼休み	3時限	4時限	5時限	6時限
9:10～10:40	10:50～12:20	12:20～13:20	13:20～14:50	15:00～16:30	16:40～18:10	18:30～20:00

\*有料の資格講座、プロジェクト科目授業等の時間として利用します。

\*キャンパスプラザ京都で授業がある科目については、プラザ科目時間となります。

### (2) 授業教室について

各学期に配付する全体時間割で確認をしてください。

### (3) 出席

授業は、教員と学生が直接人間的なふれあいを通して学問を教え学ぶ場であり、学生生活の基本になるものです。したがって、授業への出席は重要であり、自主的な学問への探究心なくしてその成果を期待することはできません。

原則として出席がその授業回数の2/3に達しない場合は、その科目についての単位認定は受けられません。

①本学には、「公欠」等の取り扱いはありません。

欠席の場合は、欠席届（学生支援窓口）に設置）を担当教員へ提出します。また、欠席分の講義内容・課題は各自で担当者に確認をして補ってください。その科目を受講する意思を確認するものと判断されます。

\*学生便覧の教員面談日・連絡先一覧を参照

②欠席が続いた場合、長期にわたって欠席する場合は、授業担当教員および学生支援部門と緊密な連絡をとり、その科目の履修と単位の修得に関して十分に相談してください。

### (4) 休講・補講について

#### 休講

①授業担当教員や大学の都合により、授業が休講となる場合があります。その場合には、休講掲示で連絡します。また、事情により所定開始時間から30分を経ても授業担当教員が出講しない場合は、「自然休講」となりますが、その場合、必ず学生支援部門に連絡と確認をおこなってください。

②気象庁が発表する気象警報において、「滋賀県大津市南部」、「滋賀県大津市北部」のいずれかの地域に、特別警報、暴風警報、または暴風雪警報のいずれかが発令された場合

③自然災害（台風、雷、洪水、暴風、豪雨、豪雪、高潮、津波、噴火、その他異常な自然現象など）およびストライキによりJR湖西線、JR京都線、JR琵琶湖線のいずれかが運行休止（または長時間の運転見合わせ）になり、なおかつバス等の代替手段がない場合。ただし、事故等による一時的な運転見合わせは除く。

#### 気象警報発令時、交通機関不通時等の授業の取扱い

午前7時まで特別警報、暴風警報、暴風雪警報、運行休止（または長時間の運転見合わせ）が解除かつ再開された場合

➡ 通常どおり実施します。

午前10時まで特別警報、暴風警報、暴風雪警報、運行休止（または長時間の運転見合わせ）が解除かつ再開された場合

➡ 午前中のみ休講とし、3時限目から通常授業を実施します。

午前10時の時点で特別警報、暴風警報、暴風雪警報、運行休止（または長時間の運転見合わせ）が解除かつ再開されなかった場合

➡ 終日休講とします。

授業中に特別警報、暴風警報、暴風雪警報のいずれかが発令された場合

➡ 発令以降、休講とします。

※自然災害等により緊急事態と大学判断した場合は、上記休講措置にかかわらず別途の休講措置を講ずる場合があります。前記の緊急事態や河川の氾濫、道路の冠水や浸水、また鉄道への影響により大学から自宅への帰宅が困難な場合や「生命・身体に危険が生じる恐れがある」と判断した場合には、学内の安全な場所に避難するなど大学の指示に従ってください。これらに関する情報は成安情報サービス・Gmailメールなどでお知らせいたします。非常時には「命を守る行動」を優先してください。市町村などからの避難勧告・避難指示などの情報に留意し、少しでも安全な場所に移動するなどただちに「命を守る行動」をとってください。

#### 補講

前記の理由等により、休講となった授業については授業期間内に補講を行います。補講については授業ごとに異なりますので、各自授業連絡等で休講となった授業科目の補講状況を確認してください。

#### (5) 授業連絡

授業に関する連絡は、授業中に連絡事項を伝えるほかに事務室前掲示板・成安情報サービスの授業連絡等を通じて情報を提供します。その他、授業担当者の指示に従ってください。

## 試験・成績について

#### (1) 試験について

試験は科目担当者が、筆記試験、レポート試験、課題作品提出、口頭試問等によりおこないます。試験の実施については、科目の到達目標により時期が異なります。

#### 保留該当者試験

保留該当者試験は、やむを得ない理由で単位の修得が困難であると科目担当者が判断した者に対して行われます。

#### ① 保留該当者発表 (前期は8月下旬・後期は2月中旬)

科目担当者が保留該当【W】となった科目については再度課題を提出することで再評価を受けることができます。学生現住所へ郵送通知・成安情報サービスの掲示板で学籍番号のみ掲載

#### ② 保留該当者試験 (前期は9月上旬・後期は2月下旬)

各学期1回行われます。受験する場合は、該当科目について教務窓口で手続きをして各担当者に再評価の依頼をおこないます。手続きを済ませないで課題を直接教員に提出した場合は無効となります。

手続き1) 受験願いの提出 及び受験料納付 (1科目2000円)

手続き2) 課題提出・試験受験

\* 保留該当者試験を受験しても学習目標の最低限の理解が得られていないと担当者が判断した場合は不合格【D】となります。

#### (2) 評価

① 成績通知書に表示する記号は、次のとおりです。

評価	素点		評価基準の目安
	H24入学 1年生～	H23以前入学生 (H24, 25編入生)	
S 秀	100～90	—	学習目標の内容を理解し修得したものと認められる特に秀でた成績
A 優	89～80	100～80	学習目標の内容を理解し修得したものと認められる優れた成績
B 良	79～70	79～70	学習目標の根幹的な部分は理解し修得したものと認められる妥当な成績
C 可	69～60	69～60	学習目標の最低限の理解は得られたものと認められる成績
W 保 留	成績保留	成績保留	保留該当者試験は、やむを得ない理由で単位の修得が困難であると科目担当者が判断
D 不 可	59以下	59以下	学習目標の最低限の理解が得られていないと認められる成績
N 認 定	認 定	認 定	*既修得単位 認定 *一括認定 *指定した資格検定合格者への単位認定

- 1) 平成24年度入学生より5段階評価を導入します。
- 2) 平成23年度以前入学生は4段階評価です。
- 3) 平成24、25年年度3年次編入生は4段階評価です。
- 4) 平成24年度よりR(再試)の取り扱いがなくなります。
- 5) 平成24年度よりE(放棄)の取り扱いがなくなります。
- 6) 平成24年度より当該科目履修中の表記をT(履修中)に変更します。

#### (3) GPA制度について

履修指導にいかすためにGPA (Grade Point Average) の制度を導入します。詳細については、最終項目で紹介いたします。

#### (4) 成績発表

履修科目の成績は、学修状況の記録として単位を修得できなかった科目も含め「成績通知書」に表示され各学期の履修登録期間に配付します。また、学期ごとに保護者(保証人)にも通知します。

成績評価について確認事項がある場合は、次の学期登録期間終了までに所定の様式で申し出ることができます。

## 進級・卒業について

- (1) 進級について  
成績単位の修得状況にかかわらず次の学年に進級します。
- (2) 卒業について  
本学に4年以上在学し、規定の単位数を修得しなければなりません。  
①卒業に必要な単位数は、次の各号に定めるところにより、124単位以上とする。  
②造形基礎科目、造形専門科目、一般教養科目、大学基礎科目、語学教養科目、キャリアデザイン科目、造形プロデュース科目より、60単位以上を修得する  
③専門科目より、64単位を修得する  
④専門科目より64単位を超えて単位を修得した場合は、前項の単位とすることができる
- (3) 卒業の時期について  
①卒業の時期は、後期末(3月)または前期末(9月)です。  
②後期末(3月)：後期終了時において卒業要件を充足した場合、卒業とします。  
卒業判定結果については、2月下旬に保証人宛に通知します。  
③前期末(9月)：前期終了時において卒業要件を充足した場合、卒業とします。  
卒業判定結果については、9月上旬に保証人宛に通知します。

### 卒業見込み証明書発行基準

4年次に進級した学生で一定の科目・単位数の修得要件を満たした者に卒業見込み証明書を発行します。

## 成安造形大学GPAについて

GPAとは、Grade Point Average(成績加重平均値)のことで、各科目の評点(100点満点)をグレードポイントに換算しなおし、その合計を科目の総単位数で割り、1単位のグレードポイントの平均値を算出するものです。

高校まではすべての学生が同じ教科・科目を履修しますから、単純に成績を比較できました。大学では、個々の学生の所属領域(コース)や目標に応じて、履修する科目を選択する自由度が高く、異なる科目を修得した様々な学生を単純に比較することができません。多様な学習環境を持つ大学では「学ぶ量」だけでなく「学ぶ質」を端的に評価できる指標が必要であり、GPAはそれを提供する方法です。専門性や就学目標からくる履修状況の違いを吸収し、公平さを与えながら学業成績評価の指標として使われるものであり、現在多くの大学でこのポイントを活用して大学での学びを確かなものにする動きがあります。

①履修登録したすべての科目を対象に算出します。単位を修得できなかった不合格科目も成績に加算されます。従って不合格科目が多いとそれだけGPAが低くなります。ただし、履修を取り消した科目、認定科目並びに卒業要件対象外の資格課程必修科目は、算出対象から除きます。

### ②GPA算出について

H24入学1年生～

素点	評価	グレードポイント
100～90	S(秀)	4
89～80	A(優)	3
79～70	B(良)	2
69～60	C(可)	1
59点以下	D(不可)	0
認定科目 資格課程必修科目		対象外

H23以前入学生(H24, 25編入生)

素点	評価	グレードポイント
100～80	A(優)	4
79～70	B(良)	3
69～60	C(可)	2
59点以下	D(不可)	0
放棄	E	対象外
認定科目 資格課程必修科目		対象外

H24入学1年生～

$$\text{GPA} = \frac{\text{Sの修得単位数} \times 4.0 + \text{Aの修得単位数} \times 3.0 + \text{Bの修得単位数} \times 2.0 + \text{Cの修得単位数} \times 1.0}{\text{総履修登録単位数(「D」の単位数含む)}}$$

H23以前入学生(H24, 25編入生)

$$\text{GPA} = \frac{\text{Aの修得単位数} \times 4.0 + \text{Bの修得単位数} \times 3.0 + \text{Cの修得単位数} \times 2.0}{\text{総履修登録単位数(「D」の単位数含む)}}$$

### ③GPAの利用について

- ・給付奨学生の適正判断審査の資料として利用します。
- ・外国人留学生の授業料減免に関する成績審査の資料として利用します。
- ・その他 GPAポイントが必要な学生の相談に応じます。

芸術学部芸術学科

平成26(2014)年度以降入学生

平成25(2013)年度以前入学生  
学修システム

共通教育センター科目

学芸員課程科目

教職課程科目

二級建築士受験資格講座科目

## 人材育成目的

「芸術による社会への貢献」という大学の理念の下、変化する時代に対応し、次代をしなやかに切り開き、アートとデザインを通して社会に新しい価値や視点を提供できる人材の育成を目指す。

## ディプロマポリシー（学位授与方針）

デザイン・美術・工芸分野の諸領域を包括的に芸術ととらえ、その芸術の理論と実践、それらの歴史的・理論的研究、支援・普及の手法の研究をすすめ、専門分野に特化したスペシャリスト、幅広い知識と技能を身に付けたジェネラリスト、バランス感覚に優れたクリエイターの育成を教育目標とした、各専門分野を横断して学べるカリキュラムを編成し、卒業までに所定の単位を修めた学生に対し卒業を認定し、学位（芸術学士）を授与する。

## カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）

芸術学科のカリキュラムは造形基本科目、造形専門科目、一般教養科目、大学基礎科目、語学教養科目、キャリアデザイン科目、造形プロデュース科目、専門科目の8科目に分かれる。カリキュラムの根幹は造形教育を中心とした専門科目にある。1年次においては学科で共通の造形演習と実習を行う。2年次からは本学科の中核で造形分野を5領域、13のモデルコースに分けてそれぞれ専門性を深めていく。しかし、ひとつのコースに限定するのではなく、学生個々の志向性に合せ、他の領域、コースの専門実習も受講することもできる。造形基本科目、造形専門科目、一般教養科目、大学基礎科目、語学教養科目、キャリアデザイン科目、造形プロデュース科目の7科目は専門科目を補い、造形表現力にとどまらず社会人として通用する生きる力、いわゆる人間力を持った学生を育成する。

### (1) 造形基本科目、造形専門科目

必修科目で造形実習を学ぶにあたって、ものづくりの思想的な根幹や歴史、現代の様相など幅広い知識を修得する。

### (2) 一般教養科目、大学基礎科目、語学教養科目。

ものづくりにとどまらず広く視線を外へ向け、国際交流や異文化理解も含めて幅広く深い教養を身につける。

### (3) キャリアデザイン科目、造形プロデュース科目

実社会での実践を通して能力開発を行う。2年次では実社会を意識し、仮想体験や社会常識等の知識を得、3年次・4年次ではプロジェクト等を通して実社会を体験する。

### (4) 専門科目

専門科目は芸術学科に5つの領域を設け、各領域で芸術表現における目標設定を行っている。

1年次においては全領域共通で演習・実習が行なわれ、平面・立体、メディア表現など様々な表現形態に触れ、造形表現の基本を徹底的に学ぶ。2年次・3年次は各領域に分かれ、領域内の共通科目と各コースに分かれた専門の演習・実習科目を履修し、専門性を追求していく。4年次には各専任教員の個別指導となり、4年間の集大成である卒業制作展に向けての仕上げを行う。

## 科目の種別

卒業するためには、必修の専門科目64単位と選択科目(学部共通基本科目)60単位以上の合計124単位以上を修得しなければなりません。選択科目については、以下の各項にあげた各種の選択科目から自由に履修することができます。科目内容や年次ごとの履修科目数などをよく考えたうえで在学中の履修計画をたててください。

### 【カリキュラム一覧】

種 別	履修対象	単 位
専門科目	必修科目	領域に所属する学生 64単位
学部共通基本科目	選択科目	全学の学生 60単位以上
造形基本科目群		
教養科目群		
社会実践科目群		
単位互換事業科目		

卒業するためには…

124単位以上

『学修案内(シラバス)』に履修する学年・学期が記されている科目は、その学年・学期に履修することを原則とします。また、各領域担当教員から履修する学年・学期を指示された場合は、それに従ってください。

## 1. 専門科目

専門科目とは、各領域がその領域に所属する学生に対して提供する科目で、必修科目として各領域・各コースの専攻分野を修めるために必要不可欠な科目です。各学年・各学期に配当され、各領域とも4学年(8学期)で合計64単位となります。原則として、所定の学年・学期に履修します。なお、領域により、「選択必修科目」があります。この科目は、一定の科目群の中から一定の科目を必ず選択して履修しなければならない科目です。

本学では、より専門分野を追究させる為に所属する領域の必修専門科目に加えて、他領域・他コースの専門科目を履修できる制度を設けています。希望者は、履修登録時に学生支援部門に申し出てください。なお、希望者には履修希望理由に関するレポートが課せられます。ただし、受講学年の制限・前提科目の受講・受講定員などの関係で登録が認められない場合がありますので事前に学生支援部門で確認をしてください。

## 2. 学部共通基本科目・造形基本科目群（造形基礎科目・造形専門科目）

【造形活動にかかわる専門家としての知識を深める科目群】

この科目群はみなさんの造形活動を支える科目です。1・2年次で履修する基礎科目と1年次から4年次まで履修する専門科目があります。

## 3. 学部共通基本科目・教養科目群（大学基礎科目・語学教養科目・一般教養科目）

【学びの基礎・考え方の基礎・コミュニケーション力をふかめる科目群】

この科目群の中には学ぶにおいて必要な基礎的な能力を養成するために1・2年次で履修する大学基礎科目と、全学年が対象となる語学を中心としてコミュニケーション能力を育成する語学教養科目、自分が伸ばしたい学問分野について学ぶことができる全学年自由選択の一般教養科目が用意されています。

また、発展科目として大学コンソーシアム京都・環びわ湖大学・地域コンソーシアムによる単位互換科目があります。(単位互換科目については別に登録用の冊子を参照してください。)

## 4. 学部共通基本科目・社会実践科目群（キャリアデザイン科目・造形プロデュース科目）

【社会への貢献を実現する科目群】

自分の将来の姿を現実近づけるための、キャリア支援科目と芸術による社会への貢献を実現するプロジェクトを単位化する造形プロデュース科目があります。

## 5. 学芸員資格取得に関する科目

学芸員資格取得に関する科目は、必修科目と選択科目に分かれます。必修科目は、博物館法をはじめとする関連諸法規にもとづいて開講されています。また、選択科目は、指定された科目を指します。

「学芸員課程履修届」を提出した学生しか履修することはできません。また、これらの必修科目を卒業に必要な単位として算入することはできません。

## 6. 教員免許状取得に関する科目

教員免許状取得に関する科目は、必修科目と選択科目に分かれます。必修科目は、教育職員免許法をはじめとする関連諸法規にもとづいて開講されます。また、選択科目は、指定された科目を指します。

教員免許状取得に関する科目は、「教職課程履修届」を提出して教員免許状取得を希望する学生以外は履修できない科目が多いので、注意が必要です。また、教員免許状取得に関する科目は、卒業のために必要な単位に算入することができない科目が多いことにも注意してください。

## 7. 二級建築士・木造建築士の受験資格

空間領域の住環境デザインコースの学生は、必修の専門科目(64単位)に加え、選択科目の中の指定された科目を履修することで、二級建築士および木造建築士の受験資格(実務経験0年)を得ることができます。



総合領域の人材育成

芸術・文化・社会について、総合的かつ横断的に学ぶ中から、造形力や広い視野と基礎力を修得し、社会動向に即応しながら「コト」や「モノ」を複合的に「デザイン」することで、新たな価値創造の推進ができる人材を育成する。

総合領域の特色・開講科目

新しいものの見方や、柔軟な発想を与えてくれるアート&デザインの力は、ものづくりや地域活性化の現場などで、いま非常に注目されています。総合領域の目的は、この力を最大限に活用し、人々の日常生活や社会をより豊かで実りあるものへ、「コト」や「モノ」を複合的に繋ぎ構築することです。

そのために、芸術や文化についての知識・コミュニケーション能力・造形力・社会や経済に対する感覚などを総合的に高め、新しい価値創造ができる「提案力」を育成していきます。

また、4年間を通じて他領域科目を横断的に学び、自分の志向性や研究テーマに合わせて自由にカリキュラムを組んでいくことができます。プロジェクト系科目に積極的に参加し、その推進役としてのリーダーシップを養うことも期待します。

あらゆる可能性と拡張性を備えた総合領域で、自分だけの未来をきりひらいてくれることを願っています。

芸術学科 総合領域(デザインプロデュースコース) 平成25(2013)年度以前入学生

カリキュラム	単位数			授業形態	開講期・年次				特記事項	取得可能ライセンス	専門科目卒業要件
	必修	選択必修	選択		1年	2年	3年	4年			
基礎造形実習1A		2		実習	○						①各領域の履修計画に基づき、基礎造形実習1~4 計8単位を修得すること*教職課程履修者は1A・2A(又は彫刻演習)・3A・4A(又は工芸演習)計8単位を2年生修了までに修得すること
基礎造形実習2A		2		実習	○						
基礎造形実習3A		2		実習	○						
基礎造形実習4A		2		実習	○						
基礎造形実習1B		2		実習	○						
基礎造形実習2B		2		実習	○						
基礎造形実習3B		2		演習	○						
基礎造形実習4B		2		演習	○						
総合基礎演習1	2			演習	○				*学科共通科目	②各領域の履修計画に基づき4単位を履修すること	
総合基礎演習2	2			演習	○				*学科共通科目	③領域の専門分野を選択して6単位を修得すること	
卒業制作	6			実習				○	*学科共通科目		
プロデュース基礎演習1		2		演習	○				デザインプロデュースコース	④領域の専門科目26単位以上修得すること	
プロデュース基礎演習2		2		演習	○				デザインプロデュースコース		
プロデュース基礎演習3		2		演習		○			デザインプロデュースコース		
プロデュース基礎演習4		2		演習		○			デザインプロデュースコース		
造形芸術研究1		2		演習		○			デザインプロデュースコース		
造形芸術研究2		2		演習		○			デザインプロデュースコース		
総合プロデュース演習1		2		演習			○		デザインプロデュースコース		
総合プロデュース演習2		2		演習			○		デザインプロデュースコース		
総合プロデュース演習3		2		演習			○		デザインプロデュースコース		
デザイン研究1		2		演習			○		デザインプロデュースコース		
デザイン研究2		2		演習			○		デザインプロデュースコース		
総合文化研究1		2		演習			○		デザインプロデュースコース		
総合文化研究2		2		演習			○		デザインプロデュースコース		
		2					○				⑤他領域の専門科目を20単位以上修得すること
		2					○				
		2					○				
		2					○				
		2					○				
		2					○				
		2					○				
		2					○				
		2					○				
		2					○				
デザインプロデュース演習1~5		各2		演習	○	○	○	○	デザインプロデュースコース		
デザインプロデュース実習1~5		各1		実習	○	○	○	○	デザインプロデュースコース		

平成26(2014)年度以降入学生

平成25(2013)年度以前入学生

共通教育センター科目

学芸員課程科目

教職課程科目

二級建築士受験資格講座科目

## 芸術学科 総合領域 デザインプロデュースコース 平成25(2013)年度以前入学生 スタンダードカリキュラム

		総合的基礎力の育成				プロデュース力の育成と強化			
		国語力/歴史文化の教養/地域社会の文化や伝統/経済や流通/ コミュニケーション能力/プレゼンテーション能力/ フィールドワークにおける調査能力/ITスキル +各領域における基礎実技を複数選択 +プロデュース基礎				企画提案力/プロデュース力 +地域社会やメディアとの連携によって、実践的な課題に取り組む			
		1年 実4+演4=16単位		2年 実4+演4=16単位		3年 実4+演4=16単位		4年 実2+演3+卒1=16単位	
		前 後		前 後		前 後		前 後	
総合領域専門科目/32単位	専門科目/64単位	プロデュース基礎演習1 言葉によるコミュニケーション	プロデュース基礎演習2 プレゼンテーション	プロデュース基礎演習3 情報収集と編集デザイン	プロデュース基礎演習4 商品デザイン・ブランドの調査研究	総合プロデュース演習1 コトをデザインするための調査	総合プロデュース演習2 コトをデザインするためのプロトタイプ制作	総合プロデュース演習3 自治体の文化研究	卒業制作
		基礎造形実習1A/B 基礎的造形力育成	基礎造形実習2A/B 基礎的造形力育成	1~2年生対象の他領域専門科目(実習、演習)	1~2年生対象の他領域専門科目(実習、演習)	1~3年生対象の他領域専門科目(実習、演習)	1~3年生対象の他領域専門科目(実習、演習)	1~3年生対象の他領域専門科目(実習、演習)	
		基礎造形実習3A/B 基礎的造形力育成	基礎造形実習4A/B 基礎的造形力育成	1~2年生対象の他領域専門科目(実習、演習)	1~2年生対象の他領域専門科目(実習、演習)	1~3年生対象の他領域専門科目(実習、演習)	1~3年生対象の他領域専門科目(実習、演習)	1~3年生対象の他領域専門科目(実習、演習)	
他領域専門科目/32単位	指定選択	総合基礎演習1 表現方法の基礎	総合基礎演習2 表現方法の基礎	デザインプロデュース演習1~5 デザインプロデュース実習1~5					
		PC基礎演習1 基礎的なPCスキル	PC基礎演習2 基礎的なPCスキル						
選択科目/60単位		プロジェクト演習 プロジェクト特別実習	プロジェクト演習 プロジェクト特別実習	プロジェクト演習 プロジェクト特別実習	プロジェクト演習 プロジェクト特別実習	プロジェクト演習 プロジェクト特別実習	プロジェクト演習 プロジェクト特別実習	プロジェクト演習 プロジェクト特別実習	

\*他領域専門科目には、それぞれ受講定員があります。また、履修要件(取得済みライセンス等)が必要な科目もあるので、来年度以降に履修予定の科目の履修要件(ライセンス等)を考慮し、4年間の履修計画をしっかりと立てること。

\*他領域専門科目の受講定員や履修要件については、履修ガイダンス等で確認すること。

## ■ イラストレーション領域の人材育成

ハンドドローイング・デザイン・デジタル表現の3つの大きな流れを融合させながら、コミュニケーションを目的としたビジュアルコンテンツの創作能力を備えた、総合的な表現力のある人材を育成する。

## ■ イラストレーション領域の特色・開講科目

近代的なポスターを生んだロートレックやミュシャはもちろん、中世ヨーロッパの宗教絵画や日本の絵巻物・浮世絵など、古くからその時代の「絵」が人々の情報伝達を担ってきました。

今日では、広告や書籍、雑誌、WEBから絵本・マンガ・ゲーム・アニメーションなど、各メディアにとって「絵」が不可欠な存在になっています。このように、絵＝イラストレーションは、言語にたよらず情報を伝達する『コミュニケーションアート』である、ととらえて欲しいと思います。

また、作品に触発されて、「笑い」や「喜び」「和み」「親しみ」「楽しさ」「懐かしさ」など、何か湧き上がってくる想いに満たされることがあります。写真や解説文だけでは伝わりにくい、ニュアンス、情感やメッセージが、平易なカタチ、的確なカタチで多くの人々の中にダイレクトに響き、見る人の感情を動かす、イラストレーションは『エンターテインメントアート』として、私たちの暮らしを豊かにし、支えているのです。

描くことによって、楽しみ、理解し、学べることはたくさんあります。イラストレーション領域では、「想いや情報をビジュアル表現として伝える」ために、制作の基礎から順を追ってステップアップしていきます。

デジタル・アナログ両面からの実践的なカリキュラムを通して、視野を広げ、基礎的な力をバランスよく身につけていきます。まずは「人が描ける」「空間が描ける」ことから、それに演出を加え「情景を描く」ステップへ。さらに、これらを構成して「コンテンツとして組み立てられる」力を修得します。

あなたの「可能性を専門性に」、「好きをライフワークへ」と広げるカリキュラムなのです。

系統立てて学んでいくための5つの柱を以下に示します。

### 1. 「原画力」を高める

ハンドドローイングを創作の原点とし、まず描写の基礎から。よく見ること、描写力を高めること、造形的に表現することから始めます。基礎力と感じる心をしっかりと磨いて、ステップアップしていきます。

### 2. メディアへの展開

各種メディアの特性を知り、自分の原画をどう活かすかまでを考えます。表現技法のひとつとしての版表現、映像(アニメーションやインタラクティブ表現)、Web、さまざまな印刷物への活用、絵本やキャラクターグッズなど商品化の試作やプレゼンテーションなど、さまざまなメディアへの展開やそのための描写技法を実際の制作を通して学びます。

### 3. デザインする力

DTP(Desk Top Publishing)を学ぶことにより、グラフィックデザイン的なアプローチとスキルを学びます。よりよいデザインによってイラストレーションとタイポグラフィが効果的に統合され、より明確な伝達機能を発揮します。デザイン工程までをきちんと理解したイラストレーターを育成します。これにより、グラフィックデザイン分野の職業へ進む卒業生もたくさんいます。

### 4. コンテンツとして演出・構成する

それぞれのメディアの目的を考え、それに沿ったビジュアルを描き、構成する中で、より強いメッセージ性が生まれます。1枚だけでは伝えきれなかったものが、シリーズ展開することで、明確な伝達力や感動力へと昇華していきます。ストーリーのあるマンガや絵本などのコンテンツ制作を学びます。

### 5. 社会への発信

4年生の卒業制作までに、進級制作展やグループ展、個展、Webサイトなど、さまざまな機会を通して、社会への発信を積極的に行っていきます。また、社会の第一線で活躍されているイラストレーター、クリエイター、編集者の方をお招きして、特別講義なども行います。

私たち絵を描く者は、言葉で思考するのと同様に、描くことで思考しています。ここであらためて絵の力を信じ「自分の目で見て、実感し、イメージして、手で描くこと」を大切に、ハンドドローイングの豊かな味わいと、そこから生まれる喜びを感じていきたいと思えます。自分が描いたもので、人々がポジティブな気持ちになり、喜び、役に立つ。人が喜び、人の役に立つことを自分の喜びとする。そんな、人の心を動かす「想いを伝えるイラストレーション」を発信していきましょう。

## 芸術学科 イラストレーション領域(イラストレーションコース) 平成25(2013)年度以前入学生

カリキュラム	単位数			授業形態	開講期・年次				特記事項	取得可能ライセンス	専門科目卒業要件	
	必修	選択必修	選択		1年	2年	3年	4年				
基礎造形実習1A		2		実習	○				*学科共通科目 イラスト領域開講科目		①各領域の履修計画に基づき、基礎造形実習1~4計8単位を修得すること *教職課程履修者は1A・2A(又は彫刻演習)・3A・4A(又は工芸演習)計8単位を2年生修了までに修得すること	
基礎造形実習2A		2		実習	○							
基礎造形実習3A		2		実習	○				*学科共通科目 イラスト領域開講科目			
基礎造形実習4A		2		実習	○							
基礎造形実習1B		2		実習	○							
基礎造形実習2B		2		実習	○				*学科共通科目 イラスト領域開講科目			
基礎造形実習3B		2		実習	○							
基礎造形実習4B		2		実習	○				*学科共通科目 イラスト領域開講科目			
総合基礎演習1	2			演習	○				*学科共通科目		②各領域の履修計画に基づき4単位を履修すること	
総合基礎演習2	2			演習	○				*学科共通科目			
卒業制作	6			実習				○	*学科共通科目		③領域の専門分野を選択して6単位を修得すること	
イラストレーション基礎演習1	2			演習	○				イラストレーションコース		④領域の専門科目46単位以上修得すること	
イラストレーション基礎演習2	2			演習	○				イラストレーションコース			
イラストレーション演習1	2			演習		○			イラストレーションコース			
イラストレーション演習2	2			演習		○			イラストレーションコース			
イラストレーション演習3	2			演習		○			イラストレーションコース			
イラストレーション演習4	2			演習		○			イラストレーションコース			
イラストレーション演習5	2			演習			○		イラストレーションコース			
イラストレーション演習6-a	2			演習			○		イラストレーションコース 選択履修科目			*a~gから1科目を選択履修すること
イラストレーション演習6-b	2			演習			○					
イラストレーション演習6-c	2			演習			○					
イラストレーション演習6-d	2			演習			○					
イラストレーション演習6-e	2			演習			○					
イラストレーション演習6-f	2			演習			○					
イラストレーション演習6-g	2			演習			○					
イラストレーション実習1	2			実習	○				イラストレーションコース		*a又はbから1科目を選択履修すること	
イラストレーション実習2	2			実習	○				イラストレーションコース			
イラストレーション実習3	2			実習	○				イラストレーションコース			
イラストレーション実習4	2			実習	○				イラストレーションコース			
イラストレーション実習5	2			実習		○			イラストレーションコース			
イラストレーション実習6	2			実習		○			イラストレーションコース			
イラストレーション実習7	2			実習		○			イラストレーションコース			
イラストレーション実習8-a	2			実習		○			イラストレーションコース 選択履修科目			
イラストレーション実習8-b	2			実習		○						
イラストレーション実習9	2			実習			○		イラストレーションコース			
イラストレーション実習10	2			実習			○		イラストレーションコース			
イラストレーション論A	2			講義	○				イラストレーションコース			
イラストレーション論B	2			講義		○			イラストレーションコース			
イラストレーション論C	2			講義		○			イラストレーションコース			
イラストレーション論D	2			講義			○		イラストレーションコース			
イラストレーション論E	2			講義			○		イラストレーションコース			

## 芸術学科 イラストレーション領域 イラストレーションコース 平成25(2013)年度以前入学生 スタンダードカリキュラム

		1年 描写力/造形基礎 実8+演8+講2=18単位	2年 技法習熟/メディア展開 実8+演8+講4=20単位	3年 応用・探求/構成力 実8+演4+講4=16単位	4年 展開力/社会発信 実10=10単位				
実習系	基礎造形実習1A 描写基礎(モノクロ) (教職/絵画) 前期のみ	基礎造形実習2B 描写基礎(色材入門) 後期のみ	イラストレーション実習1 3DCG Flash	イラストレーション実習3 デジタルイメージング 基礎細密描写	イラストレーション実習5 演出構成	イラストレーション実習6 マチエール	イラストレーション実習9 ゼミごとに展開 前期のみ	卒業制作 ゼミごとに展開 後期のみ	
	基礎造形実習3A シンボライズ (グラフィックデザイン入門) (教職/デザイン)	基礎造形実習4B 色彩描画	イラストレーション実習2 人体描写応用 (美術解剖学入門) (教職/絵画)	イラストレーション実習4 空間描写 (教職/絵画)	イラストレーション実習7 版画応用(版種選択) シルクスクリーン 銅版画 前期のみ	イラストレーション実習8 版画応用(版種選択) シルクスクリーンor 銅版画 後期のみ	イラストレーション実習10 ゼミごとに展開 前期のみ		
演習系	イラストレーション基礎演習1 画面構成 画材入門	イラストレーション基礎演習2 人体描写基礎 (クロッキー)	イラストレーション演習3 WEBデザイン	イラストレーション演習4 DTP基礎	イラストレーション演習5 DTP応用	イラストレーション演習6 (コース内選択)  風景描写      乾式画材研究  水性画材研究      デジタル イメージング応用  アニメーション 平成26年度 未開講      立体イラスト レーション  商品イラスト レーション			
	総合基礎演習1 他領域授業選択	総合基礎演習2 他領域授業選択	イラストレーション演習1 デジタルフォト	イラストレーション演習2 情報伝達表現					
講義系	イラストレーション論A イラストレーション 概論	イラストレーション論B 視覚認知論 美術解剖論	イラストレーション論C 視覚認知論 メディアイラストレーション	イラストレーション論D 広告論	イラストレーション論E メディア/自己ブ ロデュース				
選択科目 60単位	指定選択科目 前期のみ	コンピュータ基礎演習1 指定選択科目 前期のみ	コンピュータ基礎演習2 指定選択科目 後期のみ						
	領域外科目 指定科目			イラストレーション特別演習A 平成26年度未 開講	イラストレーション特別演習B 絵本制作 前後期	イラストレーション特別演習C 発想ワークショップ 前期	イラストレーション特別演習D ヌードクロッキー 前後期		

美術領域の人材育成

「描くこと」「つくること」「表現すること」を基本に、五感を通して自然界や身近な生活を見つめ、豊かな創造力を育み、自らがテーマを設定して制作した成果を社会に向けて発信できるだけの表現力をもつ人材を育成する。

美術領域の特色・開講科目

さまざまな情報が氾濫する今日の社会では、個性や私らしさは流行りもののように消費され、個人の存在意義を揺るがしかねない状況となっています。このような時代、今こそ自己の在り方を見つめ直し、世界に対する新しい「まなざし」が求められるのではないのでしょうか。アートが担う意味と意義はここにあるのです。美術領域では、美術の基本である「描くこと」「つくること」を通して、身のまわりの世界を見つめることから始まり、アートに必要な基礎体力である技法や素材、表現方法を養います。2年次からの専門コースでは、それぞれの専門的な技能と知識を習得しながら、自由なテーマで制作します。さらに4年次の実習では、それぞれの方向に合わせた個人指導をゼミ的に行い、新しい表現と自身の可能性を探ります。

芸術学科 美術領域(日本画コース、洋画コース、現代アートコース) 平成25(2013)年度以前入学生

カリキュラム	単位数			授業形態	開講期・年次				特記事項	取得可能ライセンス	専門科目卒業要件
	必修	選択必修	選択		1年	2年	3年	4年			
基礎造形実習1A		2		実習	○				＊学科共通科目 美術領域開講科目		①各領域の履修計画に基づき、基礎造形実習1～4 計8単位を修得すること ＊教職課程履修者は1A・2A(又は彫刻演習)・3A・4A(又は工芸演習)計8単位を2年生修了までに修得すること
基礎造形実習2A		2		実習	○				＊学科共通科目 美術領域開講科目		
基礎造形実習3A		2		実習	○						
基礎造形実習4A		2		実習	○						
基礎造形実習1B		2		実習	○						
基礎造形実習2B		2		実習	○						
基礎造形実習3B		2		演習	○				＊学科共通科目 美術領域開講科目		
基礎造形実習4B		2		演習	○				＊学科共通科目 美術領域開講科目		
総合基礎演習1	2			演習	○				＊学科共通科目		
総合基礎演習2	2			演習	○				＊学科共通科目	②各領域の履修計画に基づき4単位を履修すること	
卒業制作	6			実習				○	＊学科共通科目	③領域の専門分野を選択して6単位を修得すること	
美術基礎演習1	2			演習	○				美術領域共通科目	④領域の専門科目46単位以上修得すること	
美術基礎演習2	2			演習	○				美術領域共通科目		
美術演習1	2			演習		○			美術領域共通科目		
美術演習2-a	2			演習		○			日本画コース		
美術演習2-b	2			演習		○			洋画コース		
美術演習2-c	2			演習		○			現代アートコース		
美術演習3-a	2			演習		○			日本画コース		
美術演習3-b	2			演習		○			洋画コース		
美術演習3-c	2			演習		○			現代アートコース		
美術演習4	2			演習			○		美術領域共通科目		
美術演習5-a	2			演習			○		日本画コース		
美術演習5-b	2			演習			○		洋画コース		
美術演習5-c	2			演習			○		現代アートコース		
美術演習6-a	2			演習			○		日本画コース		
美術演習6-b	2			演習			○		洋画コース		
美術演習6-c	2			演習			○		現代アートコース		
美術実習1-a	2			実習		○			日本画コース		
美術実習1-b	2			実習		○			洋画コース		
美術実習1-c	2			実習		○			現代アートコース		
美術実習2-a	2			実習		○			日本画コース		
美術実習2-b	2			実習		○			洋画コース		
美術実習2-c	2			実習		○			現代アートコース		
美術実習3-a	2			実習		○			日本画コース		
美術実習3-b	2			実習		○			洋画コース		
美術実習3-c	2			実習		○			現代アートコース		
美術実習4-a	2			実習		○			日本画コース		
美術実習4-b	2			実習		○			洋画コース		
美術実習4-c	2			実習		○			現代アートコース		
美術実習5-a	2			実習			○		日本画コース		
美術実習5-b	2			実習			○		洋画コース		
美術実習5-c	2			実習			○		現代アートコース		
美術実習6-a	2			実習			○		日本画コース		
美術実習6-b	2			実習			○		洋画コース		
美術実習6-c	2			実習			○		現代アートコース		
美術実習7-a	2			実習			○		日本画コース		
美術実習7-b	2			実習			○		洋画コース		
美術実習7-c	2			実習			○		現代アートコース		
美術実習8-a	2			実習			○		日本画コース		
美術実習8-b	2			実習			○		洋画コース		
美術実習8-c	2			実習			○		現代アートコース		
美術実習9				実習				○	美術領域共通科目		
美術実習10				実習				○	美術領域共通科目		
美術論A	2			講義		○			美術領域共通科目		
美術論B	2			講義		○			美術領域共通科目		
美術論C	2			講義			○		美術領域共通科目		
美術論D	2			講義			○		美術領域共通科目		
美術論E	2			講義				○	美術領域共通科目		

平成26(2014)年度以降入学生

平成25(2013)年度以前入学生  
美術領域

共通教育センター科目

学芸員課程科目

教職課程科目

二級建築士受験資格講座科目

芸術学科 美術領域 日本画コース  
平成25(2013)年度以前入学生 スタンドアードカリキュラム

		1年 実4+演4+講2=20単位		2年 実4+演3=14単位		3年 実4+演3+講2=18単位		4年 実4+卒6+講1=12単位	
		前	後	前	後	前	後	前	後
必修科目 64単位	実習系	基礎造形実習1A 絵画・平面表現の基礎 教職 *領域共通科目	基礎造形実習3B 描写基礎(人物デッサン) *領域共通科目	美術実習1a 静物をモチーフにした制作	美術実習3a 植物をモチーフにした制作	美術実習5a 人物制作	美術実習7a 風景制作	美術実習9 各自で課題設定	卒業制作 (領域共通)
		基礎造形実習2A 彫刻・立体造形の基礎 教職 *領域共通科目	基礎造形実習4B コース別課題 曜日選択 α 日本画基礎 β 油彩基礎 γ 現代アート入門	美術実習2a 植物をモチーフにした制作	美術実習1a 動物をモチーフにした制作	美術実習6a コスチューム制作	美術実習8a 自由制作	美術実習10 各自で課題設定	
	美術基礎演習1 遠近法と色彩 *領域共通科目	美術基礎演習2 木工技術 *領域共通科目	美術演習1 クリエイター・リアリティ プレゼンテーション *領域共通科目	美術演習3a 絹本に描く	美術演習4 日本・現代・美術 *領域共通科目	美術演習6a 素材研究 (マテリアルの研究)			
	総合基礎演習1 他領域授業選択	総合基礎演習2 他領域授業選択	美術演習2a 日本画材研究1 (歴史と技法)		美術演習5a 日本画材研究 (絵の具をつくる)				
講義系	美術論A 近代日本画作家研究 *領域共通科目	美術論B 比較絵画論 *領域共通科目			美術論C(3・4年対象) 現代芸術論、近代以降の日本絵画と視覚文化の研究 *領域共通科目	美術論D(3・4年対象) 現代アート概観— 「彫刻」をキーワードに *領域共通科目	美術論E(3・4年対象) インスタレーションの研究 *領域共通科目		
	指定選択科目 コンピュータ基礎演習1	指定選択科目 コンピュータ基礎演習2							
選択科目 60単位	指定選択科目 コンピュータ基礎演習1	指定選択科目 コンピュータ基礎演習2							
			造形芸術研究1 総合領域 リレー授業	版画特別実習 シルクスクリーン技法 前期集中講座 2~4年受講可	デザイン研究1 総合領域 リレー授業				

芸術学科 美術領域 洋画コース  
平成25(2013)年度以前入学生 スタンドアードカリキュラム

		1年 実4+演4+講2=20単位		2年 実4+演3=14単位		3年 実4+演3+講2=18単位		4年 実4+卒6+講1=12単位	
		前	後	前	後	前	後	前	後
必修科目 64単位	実習系	基礎造形実習1A 絵画・平面表現の基礎 教職 *領域共通科目	基礎造形実習3B 描写基礎(人物デッサン) *領域共通科目	美術実習1b 油彩専門基礎 (朝美テンペラによる 版絵制作/人物着衣群像)	美術実習3b 古典技法 (グリザイユ技法による 静物画/カマイユ技法)	美術実習5b 方法論の展開	美術実習7b 自由制作1、2 /進級制作	美術実習9 各自で課題設定	卒業制作 (領域共通)
		基礎造形実習2A 彫刻・立体造形の基礎 教職 *領域共通科目	基礎造形実習4B コース別課題 曜日選択 α 日本画基礎 β 油彩基礎 γ 現代アート入門	美術実習2b 油彩による人物描写 (裸婦/人物着衣群像)	美術実習4b 版画技法 (シルクスクリーン技法)	美術実習6b 版画技法 (銅版画・リトグラフ技法)	美術実習8b 自由制作1、2 /進級制作 大学版画展出品参加(希望者)	美術実習10 各自で課題設定	
	美術基礎演習1 遠近法と色彩 *領域共通科目	美術基礎演習2 木工技術 *領域共通科目	美術演習1 クリエイター・リアリティ プレゼンテーション *領域共通科目	美術演習3b 近代以降の日本絵画 と視覚文化の研究	美術演習4 日本・現代・美術 *領域共通科目	美術演習6b 絵画と写真の視線 について			
	総合基礎演習1 他領域授業選択	総合基礎演習2 他領域授業選択	美術演習2b 芸術と社会性の研究		美術演習5b テーマの発見と 研究計画の立案				
講義系	美術論A 近代日本画作家研究 *領域共通科目	美術論B 比較絵画論 *領域共通科目			美術論C(3・4年対象) 現代芸術論、近代以降の日本絵画と視覚文化の研究 *領域共通科目	美術論D(3・4年対象) 現代アート概観— 「彫刻」をキーワードに *領域共通科目	美術論E(3・4年対象) インスタレーションの研究 *領域共通科目		
	指定選択科目 コンピュータ基礎演習1	指定選択科目 コンピュータ基礎演習2							
選択科目 60単位	指定選択科目 コンピュータ基礎演習1	指定選択科目 コンピュータ基礎演習2							
			造形芸術研究1 総合領域 リレー授業	版画特別実習 シルクスクリーン技法 前期集中講座 2~4年受講可	デザイン研究1 総合領域 リレー授業				

平成26(2014)年度以降入学生

平成25(2013)年度以前入学生  
美術領域

共通教育センター科目

学芸員課程科目

教職課程科目

二級建築士受験資格講座科目

芸術学科 美術領域 現代アートコース スタandardカリキュラム  
平成25(2013)年度以前入学生 Standardカリキュラム

		1年 実4+演4+講2=20単位		2年 実4+演3=14単位		3年 実4+演3+講2=18単位		4年 実4+卒6+講1=12単位	
		前	後	前	後	前	後	前	後
平成25(2013)年度以前入学生 美術領域	実習系	基礎造形実習1A 絵画・平面表現の基礎 教職 *領域共通科目	基礎造形実習3B 描写基礎(人物デッサン) *領域共通科目	美術実習1c オブジェ・フィギアの制作 平面イメージの立体化 石膏・鉄などのハード・ スカルプチャーの技術	美術実習3c モデリングによる塑像の 制作 キャストングの成型技術	美術実習5c 光や音による表現 複合的なメディア アート	美術実習7c テーマ・コンセプト ・構想 学内1日展・進級 制作	美術実習9 各自で課題設定	卒業制作 (領域共通)
		基礎造形実習2A 彫刻・立体造形の基礎 教職 *領域共通科目	基礎造形実習4B コース別課題 曜日選択 α 日本画基礎 β 油彩基礎 γ 現代アート入門	美術実習2c 平面表現を考える 写真/版画	美術実習4c フィールドワーク・鑑地制作 他者と協働するコラボレ ーションを体験。	美術実習6c リレー個展の構想・ 制作 展覧会のプロモーション ・ビデオ制作	美術実習8c サイトスペシフィック な表現 アート・プロジェクト の企画	美術実習10 各自で課題設定	
	美術基礎演習1 遠近法と色彩 *領域共通科目	美術基礎演習2 木工技術 *領域共通科目	美術演習1 ポートフォリオ作成 アーティストステートメント *領域共通科目	美術演習3c 空間と表現の多様性を 趣味レーション アーティスト・ステート メントと企画づくり	美術演習4 日本・現代・美術 *領域共通科目	美術演習6c 身体表現と パフォーマンス コラボレーション			
	総合基礎演習1 他領域授業選択	総合基礎演習2 他領域授業選択	美術演習2c 芸術家のリサーチと プレゼンテーション ことばと文字や 記号表現の事例研究		美術演習5c アートの著作権の 研究 表現の倫理と関連法				
講義系	美術論A 近代日本画作家研究 *領域共通科目	美術論B 比較絵画論 *領域共通科目			美術論C(3・4年対象) 現代芸術論、近代以 降の日本絵画と視覚 文化の研究 *領域共通科目	美術論D(3・4年対象) 現代アート概観— 「彫刻」をキーワードに *領域共通科目	美術論E(3・4年対象) インスタレーション の研究 *領域共通科目		
	指定選択科目 コンピュータ 基礎演習1	指定選択科目 コンピュータ 基礎演習2							
選択科目/60単位 講義系以外を履修する科目			造形芸術研究1 総合領域 リレー授業	版画特別実習 シルクスクリーン 前期集中講座 2~4年受講可	デザイン研究1 総合領域 リレー授業				

平成26(2014)年度以降入学生

平成25(2013)年度以前入学生  
美術領域

共通教育センター科目

学芸員課程科目

教職課程科目

二級建築士受験資格講座科目



メディアデザイン領域の人材育成

さまざまなメディアについて基礎から学び応用力を培いながら、複数のメディアをまたぐメディアミックスによる表現の可能性を広げるとともに、社会や文化についての思索を深め、次世代に対応した新しいコミュニケーションを創造できる人材を育成する。

メディアデザイン領域の特色・開講科目

テクノロジーの急激な進化は、人間の情報環境を大きく変え、コミュニケーションのかたちだけでなく、人々の精神や社会構造にも大きな影響を及ぼしています。このような状況下でデザインが取り組むべき役割とは、情報を発信する側と受信する側をつなぐメディアの境界面(インターフェース)を、感性豊かで創造的なものとして提案することです。

メディアデザイン領域では、写真・映像・グラフィック・CGなど、さまざまなメディアについて基礎から学び、メディアミックスによる表現の可能性を広げます。同時に、社会や文化についての思索を深め、次代に対応した新しいコミュニケーションを創造できる人材を育成していきます。

芸術学科 メディアデザイン領域(写真コース、グラフィックデザインコース、アニメーション・CGコース、映像・放送コース) 平成25(2013)年度以前入学生

カリキュラム	単位数			授業形態	開講期・年次				特記事項	取得可能ライセンス	専門科目卒業要件
	必修	選択必修	選択		1年	2年	3年	4年			
基礎造形実習1A		2		実習	○				※学科共通科目 メディアデザイン領域開講科目		①各領域の履修計画に基づき、基礎造形実習1~4 計8単位を修得すること ※教職課程履修者は1A・2A(又は彫刻演習)・3A・4A(又は工芸演習) 計8単位を2年生修了までに修得すること
基礎造形実習2A		2		実習	○						
基礎造形実習3A		2		実習	○				※学科共通科目 メディアデザイン領域開講科目		
基礎造形実習4A		2		実習	○						
基礎造形実習1B		2		実習	○						
基礎造形実習2B		2		実習	○				※学科共通科目 メディアデザイン領域開講科目	写真Cライセンス	
基礎造形実習3B		2		演習	○						
基礎造形実習4B		2		演習	○				※学科共通科目 メディアデザイン領域開講科目	映像撮影機材C、アニメーションスタジオAライセンス	
総合基礎演習1	2			演習	○				※学科共通科目		
総合基礎演習2	2			演習	○				※学科共通科目		
卒業制作	6			実習				○	※学科共通科目		③領域の専門分野を選択して6単位を修得すること
メディアデザイン基礎演習1	2			演習	○				メディアデザイン領域共通科目		④領域の専門科目46単位以上修得すること
メディアデザイン基礎演習2	2			演習	○				メディアデザイン領域共通科目		
メディアデザイン基礎演習3	2			演習	○				メディアデザイン領域共通科目		
メディアデザイン基礎演習4	2			演習	○				メディアデザイン領域共通科目		
メディアデザイン演習1	2			演習		○			メディアデザイン領域共通科目	DTPルームライセンス	
メディアデザイン演習2	2			演習		○			メディアデザイン領域共通科目	DTPルームライセンス	
メディアデザイン演習3	2			演習			○				
メディアデザイン演習4	2			演習			○				
メディアデザイン演習5	2			演習			○				
メディアデザイン演習6	2			演習			○				
メディアデザイン演習7	2			演習			○				
メディアデザイン演習8	2			演習			○				
メディアデザイン演習9	2			演習			○				
メディアデザイン演習10	2			演習			○				
メディアデザイン実習1-a	2			実習		○			写真コース	映像サウンド機材C、映像サウンド機材B、映像照明機材B、プロードキャストスタジオ(スタジオ/調整室)、コンピュータスタジオAライセンス	演習 3~10から前期1科目、後期1科目の計4単位を選択履修すること
メディアデザイン実習1-b	2			実習		○			グラフィックデザインコース	DTPルームライセンス	
メディアデザイン実習1-c	2			実習		○			映像・放送コース	映像サウンド機材C、映像サウンド機材B、映像照明機材B、プロードキャストスタジオ(スタジオ/調整室)、コンピュータスタジオAライセンス	
メディアデザイン実習1-d	2			実習		○			アニメ・CGコース	映像サウンド機材C、コンピュータスタジオBライセンス	
メディアデザイン実習2-a	2			実習		○			写真コース		
メディアデザイン実習2-b	2			実習		○			グラフィックデザインコース	DTPルームライセンス	
メディアデザイン実習2-c	2			実習		○			映像・放送コース	映像サウンド機材C、コンピュータスタジオAライセンス	
メディアデザイン実習2-d	2			実習		○			アニメ・CGコース	コンピュータスタジオBライセンス	
メディアデザイン実習3-a	2			実習		○			写真コース	写真Bライセンス	
メディアデザイン実習3-b	2			実習		○			グラフィックデザインコース	DTPルームライセンス	
メディアデザイン実習3-c	2			実習					映像・放送コース	映像撮影機材B、映像照明機材B、映像サウンド機材C、映像サウンド機材B、コンピュータスタジオA、プロードキャストスタジオ(スタジオ/調整室)、シンプルスタジオ、写真B(撮影用品)ライセンス	
メディアデザイン実習3-d	2			実習		○			アニメ・CGコース	コンピュータスタジオAライセンス	
メディアデザイン実習4-a	2			実習		○			写真コース	写真B(暗室系、写真コンピュータ用)ライセンス	
メディアデザイン実習4-b	2			実習		○			グラフィックデザインコース	写真B(スタジオ撮影系)、DTPルームライセンス	
メディアデザイン実習4-c	2			実習		○			映像・放送コース	映像サウンド機材C、コンピュータスタジオBライセンス	
メディアデザイン実習4-d	2			実習		○			アニメ・CGコース	写真B(撮影用品)、アニメーションスタジオA、コンピュータスタジオAライセンス	
メディアデザイン実習5-a	2			実習		○			写真コース		
メディアデザイン実習5-b	2			実習		○			グラフィックデザインコース		
メディアデザイン実習5-c	2			実習		○			映像・放送コース		
メディアデザイン実習5-d	2			実習		○			アニメ・CGコース		
メディアデザイン実習6-a	2			実習		○			写真コース		
メディアデザイン実習6-b	2			実習		○			グラフィックデザインコース		
メディアデザイン実習6-c	2			実習		○			映像・放送コース		
メディアデザイン実習6-d	2			実習		○			アニメ・CGコース		
メディアデザイン実習7-a	2			実習		○			写真コース		
メディアデザイン実習7-b	2			実習		○			グラフィックデザインコース		
メディアデザイン実習7-c	2			実習		○			映像・放送コース		
メディアデザイン実習7-d	2			実習		○			アニメ・CGコース		
メディアデザイン実習8-a	2			実習		○			写真コース		
メディアデザイン実習8-b	2			実習		○			グラフィックデザインコース		
メディアデザイン実習8-c	2			実習		○			映像・放送コース		
メディアデザイン実習8-d	2			実習		○			アニメ・CGコース		
メディアデザイン実習9	2			実習			○		メディアデザイン領域共通科目		
メディアデザイン実習10	2			実習			○		メディアデザイン領域共通科目		
メディアデザイン論A	2			講義		○			メディアデザイン領域共通科目		
メディアデザイン論B	2			講義		○			メディアデザイン領域共通科目		
メディアデザイン論C	2			講義			○		メディアデザイン領域共通科目		
メディアデザイン論D	2			講義			○		メディアデザイン領域共通科目		
メディアデザイン史A	2			講義			○		写真コース		
メディアデザイン史B	2			講義			○		グラフィックデザインコース		
メディアデザイン史C	2			講義			○		映像・放送コース		
メディアデザイン史D	2			講義			○		アニメ・CGコース		

平成26(2014)年度以降入学生

平成25(2013)年度以前入学生

メディアデザイン領域

共通教育センター科目

学芸員課程科目

教職課程科目

二級建築士受験資格講座科目

## 芸術学科 メディアデザイン領域 写真コース 平成25(2013)年度以前入学生 スタンダードカリキュラム

		1年 実4+演6=20単位		2年 実4+演2+講3=18単位		3年 実4+演2+講2=16単位		4年 実4+卒6=10単位		
		前	後	前	後	前	後	前	後	
実習系	実習系	基礎造形実習1A 描写 *領域共通科目 (前期or後期)	基礎造形実習2B 写真基礎 *領域共通科目 (前期or後期)	メディア デザイン実習1-a 映像表現基礎/ グラフィック基礎 *写真コース必修科目	メディア デザイン実習2-a 映像表現応用/ グラフィック応用 *写真コース必修科目	メディア デザイン実習5-a 写真の原理と実験 *写真コース必修科目	メディア デザイン実習6-a 表現力アップのためのワー クショップ(個展開催) *写真コース必修科目	メディア デザイン実習9 卒業制作企画 *領域共通科目	卒業制作 <sup>ゼミ</sup>	
		基礎造形実習3A グラフィック・デザイ ン基礎 シンボライズ *領域共通科目 (前期or後期)	基礎造形実習4B 映像基礎 実写/コマ撮り *領域共通科目 (前期or後期)	メディア デザイン実習3-a 写真表現の基礎力(カ ラプリント、大型プリント) *写真コース必修科目	メディア デザイン実習4-a ドキュメンタリー写真/ フォトインスタレーション *写真コース必修科目	メディア デザイン実習7-a 自己表現のためのテーマ研究 *写真コース必修科目	メディア デザイン実習8-a 自己表現のためのテーマ 追求(個展開催) *写真コース必修科目	メディア デザイン実習10 <sup>ゼミ</sup> テーマ研究 *領域共通科目		*領域共通科目
専門科目/64単位	演習系	メディアデザイン 基礎演習1A 情報デザイン基礎 インタビュー/アンケート *領域共通科目	メディアデザイン 基礎演習2 情報デザインの研究 作品研究/プレゼンテーション *領域共通科目	メディア デザイン演習1 Webサイト企画 (Dreamweaver) *領域共通科目	メディア デザイン演習2 Webサイト制作 (Flash) *領域共通科目	メディア <sup>選択</sup> デザイン演習3 ドキュメンタリー研究1 *領域共通選択科目	メディア <sup>選択</sup> デザイン演習4 ドキュメンタリー研究2 *領域共通選択科目			
		メディアデザイン 基礎演習3 写真基礎演習 GD基礎演習 *領域共通科目	メディアデザイン 基礎演習4 映像基礎演習 サウンド基礎演習 *領域共通科目(前期or後期)			メディア <sup>選択</sup> デザイン演習5 インターフェイス研究1 *領域共通選択科目	メディア <sup>選択</sup> デザイン演習6 インターフェイス研究2 *領域共通選択科目			
		総合基礎演習1 他領域授業選択	総合基礎演習2 他領域授業選択			メディア <sup>選択</sup> デザイン演習7 モーション・グラフィックス *領域共通選択科目	メディア <sup>選択</sup> デザイン演習8 メディアインスタレーション *領域共通選択科目			
				メディア <sup>選択</sup> デザイン演習9 iPadアプリ制作 *領域共通選択科目	メディア <sup>選択</sup> デザイン演習10 ソーシャルネットワーク アプリ制作 *領域共通選択科目					
				メディア デザイン論A メディアの歴史 *領域共通科目	メディア デザイン論B 情報処理論 *領域共通科目	メディア デザイン論C イメージと記号 *領域共通科目	メディア デザイン論D ニューメディア *領域共通科目			
				メディア デザイン史A 写真史 *領域共通科目						
選択科目/60単位	選択であるが、 必修扱いの科目 領域が全学に 対し提供する科目 コースの学生に 推奨する科目	コンピュータ 基礎演習1 デジタル画像処理 (Photoshop ほか) *領域共通科目	コンピュータ 基礎演習2 DTP基礎 (Illustrator ほか) *領域共通科目	コンピュータ 基礎演習3 Webデザイン基礎 (HTML)Dreamwaver *領域共通科目	コンピュータ 基礎演習4 Webデザイン基礎 (Dreamwaver ほか) *領域共通科目					
					メディア デザイン史B グラフィック デザイン史 *領域共通科目	メディア デザイン史C 映画史 *領域共通科目	メディア デザイン史D アニメーション史 *領域共通科目			
						メディアアート 概論 *領域共通科目	オルタナティブ 文化論 *領域共通科目			

■ 芸術学科 メディアデザイン領域 グラフィックデザインコース  
平成25(2013)年度以前入学生 スタンダードカリキュラム

		1年 実4+演6=20単位		2年 実4+演2+講3=18単位		3年 実4+演2+講2=16単位		4年 実4+卒6=10単位			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
実習系	実習系	基礎造形実習1 描写 *領域共通科目(前期or後期)	基礎造形実習2B 写真基礎 *領域共通科目(前期or後期)	メディアデザイン実習1-b タイポグラフィ・組版 (Photoshop/Illustrator/Indesign) *GDコース必修科目(前期or後期)	メディアデザイン実習2-b 製版・シルクスクリーン (Illustrator) *GDコース必修科目(前期or後期)	メディアデザイン実習5-b エディトリアルデザイン (Indesign) *GDコース必修科目(前期or後期)	メディアデザイン実習6-b パッケージデザイン *GDコース必修科目(前期or後期)	メディアデザイン実習9 卒業制作企画 *領域共通科目	卒業制作 <sup>ゼミ</sup>		
		基礎造形実習3A グラフィック・デザイン基礎 シンボライズ *領域共通科目(前or後期)	基礎造形実習4B 映像基礎 実写/コマ撮り *領域共通科目(前期or後期)	メディアデザイン実習3-b 広告・ブランディング *GDコース必修科目(前期or後期)	メディアデザイン実習4-b 写真(Photoshop) *GDコース必修科目(前期or後期)	メディアデザイン実習7-b アートディレクション *GDコース必修科目(前期or後期)	メディアデザイン実習8-b インフォメーションデザイン *GDコース必修科目(前期or後期)	メディアデザイン実習10 テーマ研究 *領域共通科目	*領域共通科目		
		メディアデザイン基礎演習1A 情報デザイン基礎 インタビュー/アンケート *領域共通科目	メディアデザイン基礎演習2 情報デザインの研究 作品研究/プレゼンテーション *領域共通科目	メディアデザイン演習1 Webサイト企画 (Dreamweaver) *領域共通科目	メディアデザイン演習2 Webサイト制作 (Flash) *領域共通科目	メディアデザイン演習3 <sup>選択</sup> ドキュメンタリー研究1 *領域共通選択科目	メディアデザイン演習4 <sup>選択</sup> ドキュメンタリー研究2 *領域共通選択科目				
		メディアデザイン基礎演習3 写真基礎演習 GD基礎演習 *領域共通科目(前期or後期)	メディアデザイン基礎演習4 映像基礎演習 サウンド基礎演習 *領域共通科目(前期or後期)			メディアデザイン演習5 <sup>選択</sup> インターフェイス研究1 *領域共通選択科目	メディアデザイン演習6 <sup>選択</sup> インターフェイス研究2 *領域共通選択科目				
演習系	演習系	総合基礎演習1 他領域授業選択	総合基礎演習2 他領域授業選択			メディアデザイン演習7 <sup>選択</sup> モーション・グラフィックス *領域共通選択科目	メディアデザイン演習8 <sup>選択</sup> メディア・インストール *領域共通選択科目				
						メディアデザイン演習9 <sup>選択</sup> iPadアプリ制作 *領域共通選択科目	メディアデザイン演習10 <sup>選択</sup> ソーシャルネットワーク アプリ制作 *領域共通選択科目				
講義系	講義系			メディアデザイン論A メディアの歴史 *領域共通科目	メディアデザイン論B 情報処理論 *領域共通科目	メディアデザイン論C イメージと記号 *領域共通科目	メディアデザイン論D ニューメディア *領域共通科目				
					メディアデザイン史B グラフィック・デザイン史 *領域共通科目						
選択科目	選択科目	コンピュータ基礎演習1 デジタル画像処理 (Photoshop ほか) *領域共通科目	コンピュータ基礎演習2 DTP基礎 (Illustrator ほか) *領域共通科目	コンピュータ基礎演習3 Webデザイン基礎 (HTML/Dreamweaver) *領域共通科目	コンピュータ基礎演習4 Webデザイン基礎 (Dreamweaver ほか) *領域共通科目						
				メディアデザイン史A 写真史 *領域共通科目		メディアデザイン史C 映画史 *領域共通科目	メディアデザイン史D アニメーション史 *領域共通科目				
						メディアアート概論 *領域共通科目	オルタナティブ文化論 *領域共通科目				

■ 芸術学科 メディアデザイン領域 映像・放送コース  
平成25(2013)年度以前入学生 スタンダードカリキュラム

		1年 実4+演6=20単位		2年 実4+演2+講3=18単位		3年 実4+演2+講2=16単位		4年 実4+卒6=10単位		
		前	後	前	後	前	後	前	後	
実習系	基礎造形実習1A 描写 *領域共通科目 (前期or後期)	基礎造形実習2B 写真基礎 *領域共通科目 (前期or後期)	メディアデザイン実習3-c 撮影・照明・録音 (Premiere & AfterEffects) *映像・放送コース必修科目	メディアデザイン実習1-c 映像文法/教育番組の制作(Premiere) *映像・放送コース必修科目	メディアデザイン実習5-c ドキュメンタリー *映像・放送コース必修科目	メディアデザイン実習6-c 実験映像(個人制作) *映像・放送コース必修科目	メディアデザイン実習9 卒業制作企画 *領域共通科目	卒業制作 ゼミ		
		基礎造形実習3A グラフィック・デザイン基礎 シンボライズ *領域共通科目 (前期or後期)	基礎造形実習4B 映像基礎 実写/コマ撮り *領域共通科目 (前期or後期)	メディアデザイン実習4-c 3DCG基礎(3ds Max) *映像・放送コース必修科目	メディアデザイン実習2-c サウンド実習(Soundbooth) *映像・放送コース必修科目	メディアデザイン実習7-c シナリオ *映像・放送コース必修科目	メディアデザイン実習8-c ドラマ(グループ制作) *映像・放送コース必修科目	メディアデザイン実習10 テーマ研究 *領域共通科目	*領域共通科目	
	メディアデザイン基礎演習1A 情報デザイン基礎 インタビュー/アンケート *領域共通科目	メディアデザイン基礎演習2 情報デザインの研究 作品研究/プレゼンテーション *領域共通科目	メディアデザイン演習1 Webサイト企画 (Dreamweaver) *領域共通科目	メディアデザイン演習2 Webサイト制作 (Flash) *領域共通科目	メディアデザイン演習3 ドキュメンタリー研究1 *領域共通選択科目	メディアデザイン演習4 ドキュメンタリー研究2 *領域共通選択科目				
	メディアデザイン基礎演習3 写真基礎演習 GD基礎演習 *領域共通科目(前期or後期)	メディアデザイン基礎演習4 映像基礎演習 サウンド基礎演習 *領域共通科目(前期or後期)			メディアデザイン演習5 インタビューフェイス研究1 *領域共通選択科目	メディアデザイン演習6 インタビューフェイス研究2 *領域共通選択科目				
演習系	総合基礎演習1 他領域授業選択	総合基礎演習2 他領域授業選択			メディアデザイン演習7 モーショングラフィックス *領域共通選択科目	メディアデザイン演習8 メディア・インストレーション *領域共通選択科目				
					メディアデザイン演習9 iPadアプリ制作 *領域共通選択科目	メディアデザイン演習10 ソーシャルネットワーク アプリ制作 *領域共通選択科目				
講義系			メディアデザイン論A メディアの歴史 *領域共通科目	メディアデザイン論B 情報処理論 *領域共通科目	メディアデザイン論C イメージと記号 *領域共通科目	メディアデザイン論D ニューメディア *領域共通科目				
			メディアデザイン史C 映画史 *領域共通科目							
選択科目/60単位	選択であるが、 必修扱いの科目	コンピュータ基礎演習1 デジタル画像処理 (Photoshop ほか) *領域共通科目	コンピュータ基礎演習2 DTP基礎 (Illustrator ほか) *領域共通科目	コンピュータ基礎演習3 Webデザイン基礎 (HTML)(Dreamwaver) *領域共通科目	コンピュータ基礎演習4 Webデザイン基礎 (Dreamwaver ほか) *領域共通科目					
	領域が全学に対し提供 する科目 コースの学生に提供する 科目			メディアデザイン史D アニメーション史 *領域共通科目	メディアデザイン史A 写真史 *領域共通科目	メディアデザイン史B グラフィック・デザイン史 *領域共通科目	オルタナティブ文化論 *領域共通科目			

## ■ 芸術学科 メディアデザイン領域 アニメーション・CGコース 平成25(2013)年度以前入学生 スタンダードカリキュラム

		1年 実4+演6=20単位		2年 実4+演2+講3=18単位		3年 実4+演2+講2=16単位		4年 実4+卒6=10単位	
		前	後	前	後	前	後	前	後
実習系	必修科目/64単位	基礎造形実習1A 描写 *領域共通科目(前期or後期)	基礎造形実習2B 写真基礎 *領域共通科目(前期or後期)	メディアデザイン実習1-d 3DCG基礎(3ds Max) *アニメ・CGコース必修科目	メディアデザイン実習2-d VFX(After Effects & 3ds Max) *アニメ・CGコース必修科目	メディアデザイン実習5-d グループ制作 *アニメ・CGコース必修科目	メディアデザイン実習6-d 個人制作(連載制作) *アニメ・CGコース必修科目	メディアデザイン実習9 卒業制作企画 *領域共通科目	卒業研究 <sup>ゼミ</sup>
		基礎造形実習3A グラフィック・デザイン基礎 シンボライズ *領域共通科目(前期or後期)	基礎造形実習4B 映像基礎 実写/コマ撮り *領域共通科目(前期or後期)	メディアデザイン実習4-d コマ撮りアニメ *アニメ・CGコース必修科目	メディアデザイン実習3-d 作画基礎(RETAS!) *アニメ・CGコース必修科目	メディアデザイン実習7-d 作画応用 *アニメ・CGコース必修科目	メディアデザイン実習8-d アニメーション企画 *アニメ・CGコース必修科目	メディアデザイン実習10 <sup>ゼミ</sup> テーマ研究 *領域共通科目	*領域共通科目
演習系	必修科目/64単位	メディアデザイン基礎演習1A 情報デザイン基礎 インタビュー/アンケート *領域共通科目	メディアデザイン基礎演習2 情報デザインの研究 作品研究/プレゼンテーション *領域共通科目	メディアデザイン演習1 Webサイト企画(Dreamweaver) *領域共通科目	メディアデザイン演習2 Webサイト制作(Flash) *領域共通科目	メディアデザイン演習3 <sup>選択</sup> ドキュメンタリー研究1 *領域共通選択科目	メディアデザイン演習4 <sup>選択</sup> ドキュメンタリー研究2 *領域共通選択科目		
		メディアデザイン基礎演習3 写真基礎演習 GD基礎演習 *領域共通科目(前期or後期)	メディアデザイン基礎演習4 映像基礎演習 サウンド基礎演習 *領域共通科目(前期or後期)			メディアデザイン演習5 <sup>選択</sup> インターフェイス研究1 *領域共通選択科目	メディアデザイン演習6 <sup>選択</sup> インターフェイス研究2 *領域共通選択科目		
		総合基礎演習1 他領域授業選択	総合基礎演習2 他領域授業選択			メディアデザイン演習7 <sup>選択</sup> モーション・グラフィックス *領域共通選択科目	メディアデザイン演習8 <sup>選択</sup> メディア・インステレーション *領域共通選択科目		
講義系	必修科目/64単位			メディアデザイン論A メディアの歴史 *領域共通科目	メディアデザイン論B 情報処理論 *領域共通科目	メディアデザイン論C イメージと記号 *領域共通科目	メディアデザイン論D ニューメディア *領域共通科目		
					メディアデザイン史D アニメーション史 *領域共通科目				
選択科目/60単位	領域が全学に対し提供する科目 コースの学生に推奨する科目	コンピュータ基礎演習1 デジタル画像処理(Photoshop ほか) 領域共通科目	コンピュータ基礎演習2 DTP基礎(Illustrator ほか) *領域共通科目	コンピュータ基礎演習3 Webデザイン基礎(HTML)(Dreamwaver) *領域共通科目	コンピュータ基礎演習4 Webデザイン基礎(Dreamwaver ほか) *領域共通科目				
				メディアデザイン史C 映画史 *領域共通科目		メディアデザイン史A 写真史 *領域共通科目	メディアデザイン史B グラフィック・デザイン史 *領域共通科目	オルタナティブ文化論 *領域共通科目	

空間デザイン領域の人材育成

ものづくりのよりどころである身体・素材・生活・空間をキーワードに「もの」や「しくみ」を形に表現できる力を育み、「発見」から「表現」「構築」、更には社会に対し多様な価値を提案できるデザイナーを育成する。

空間デザイン領域の特色・開講科目

デザイナーとは、モノや空間に形と意味を与える人のことです。ひとりの人間として、またスペシャリストとして、人々に夢と感動を与え、新しいものの見方や考え方を伝える人のことです。空間デザイン領域は、建築、インテリア、プロダクト、家具、雑貨からファッション、テキスタイルまで、誰も気づかない美しさや楽しさ、使い方を発見し、それを形で表現できる人材を育てます。素材の魅力を知り、自分の形が姿をあらわすときのよきこびは、無心に手を動かしてこそ味わえる喜びです。「なりたい自分」はそこから見えてくるはず。「発見」から「表現」、そして「構築」へとステップアップする、多彩な実習を軸にした段階的なカリキュラムによって、社会に対し多様な価値を提案できるデザイナーを育てる領域です。

芸術学科 空間デザイン領域(住環境デザインコース、プロダクトデザインコース、ファッションデザインコース、テキスタイルアートコース)平成25(2013)年度以前入学生

カリキュラム	単位数			授業形態	開講期・年次				特記事項	取得可能ライセンス	専門科目卒業要件
	必修	選択必修	選択		1年	2年	3年	4年			
基礎造形実習1 A		2		実習	○						①各領域の履修計画に基づき、基礎造形実習1~4 計8単位を修得すること *教職課程履修者は1A・2A(又は彫刻実習)・3A・4A(又は工芸実習)計8単位を2年生修了までに修得すること
基礎造形実習2 A		2		実習	○				*学科共通科目 空間領域開講科目		
基礎造形実習3 A		2		実習	○				*学科共通科目 空間領域開講科目		
基礎造形実習4 A		2		実習	○				*学科共通科目 空間領域開講科目		
基礎造形実習1 B		2		実習	○				*学科共通科目 空間領域開講科目		
基礎造形実習2 B		2		実習	○						
基礎造形実習3 B		2		演習	○						
基礎造形実習4 B		2		演習	○						
総合基礎演習1	2			演習	○				*学科共通科目		②各領域の履修計画に基づき4単位履修すること
総合基礎演習2	2			演習	○				*学科共通科目		
卒業制作	6			実習				○	*学科共通科目		③領域の専門分野を選択して6単位を修得すること
空間基礎演習1	2			演習	○				空間領域共通科目		④領域の専門科目46単位以上修得すること
空間基礎演習2	2			演習	○				空間領域共通科目		
空間デザイン演習1	2			演習		○			空間領域共通科目		
空間デザイン演習2-a	2			演習		○			住環境デザインコース		
空間デザイン演習2-b	2			演習		○			プロダクトデザインコース		
空間デザイン演習2-c	2			演習		○			ファッションデザインコース		
空間デザイン演習2-d	2			演習		○			テキスタイルデザインコース		
空間デザイン演習3-a	2			演習		○			住環境デザインコース		
空間デザイン演習3-b	2			演習		○			プロダクトデザインコース		
空間デザイン演習3-c	2			演習		○			ファッションデザインコース		
空間デザイン演習3-d	2			演習		○			テキスタイルデザインコース		
空間デザイン演習4-ab	2			演習		○			住環境/プロダクト コース共通		
空間デザイン演習4-cd	2			演習		○			ファッション/テキスタイル コース共通		
空間デザイン演習5-a	2			演習		○			住環境デザインコース		
空間デザイン演習5-b	2			演習		○			プロダクトデザインコース		
空間デザイン演習5-c	2			演習		○			ファッションデザインコース		
空間デザイン演習5-d	2			演習		○			テキスタイルデザインコース		
空間デザイン演習6-a	2			演習		○			住環境デザインコース		
空間デザイン演習6-b	2			演習		○			プロダクトデザインコース		
空間デザイン演習6-c	2			演習		○			ファッションデザインコース		
空間デザイン演習6-d	2			演習		○			テキスタイルデザインコース		
空間デザイン演習7-ab	2			演習			○		住環境/プロダクト コース共通		
空間デザイン演習7-cd	2			演習			○		ファッション/テキスタイル コース共通		
空間デザイン演習8-a	2			演習			○		住環境デザインコース		
空間デザイン演習8-b	2			演習			○		プロダクトデザインコース		
空間デザイン演習8-c	2			演習			○		ファッションデザインコース		
空間デザイン演習8-d	2			演習			○		テキスタイルデザインコース		
空間デザイン演習9-a	2			演習			○		住環境デザインコース		
空間デザイン演習9-b	2			演習			○		プロダクトデザインコース		
空間デザイン演習9-c	2			演習			○		ファッションデザインコース		
空間デザイン演習9-d	2			実習			○		テキスタイルデザインコース		
空間デザイン演習10-a	2			実習			○		住環境デザインコース		
空間デザイン演習10-b	2			実習			○		プロダクトデザインコース		
空間デザイン演習10-c	2			実習			○		ファッションデザインコース		
空間デザイン演習10-d	2			実習			○		テキスタイルデザインコース		
空間デザイン演習11-a	2			実習			○		住環境デザインコース		
空間デザイン演習11-b	2			実習			○		プロダクトデザインコース		
空間デザイン演習11-c	2			実習			○		ファッションデザインコース		
空間デザイン演習11-d	2			実習			○		テキスタイルデザインコース		
空間デザイン実習1-ab	2			実習			○		住環境/プロダクト コース共通		
空間デザイン実習1-cd	2			実習			○		ファッション/テキスタイル コース共通		
空間デザイン実習2-a	2			実習			○		住環境デザインコース		
空間デザイン実習2-b	2			実習			○		プロダクトデザインコース		
空間デザイン実習2-c	2			実習			○		ファッションデザインコース		
空間デザイン実習2-d	2			実習			○		テキスタイルデザインコース		
空間デザイン実習3	2			実習			○		空間領域共通科目		
空間デザイン実習4-a	2			実習			○		住環境デザインコース		
空間デザイン実習4-b	2			実習			○		プロダクトデザインコース		
空間デザイン実習4-c	2			実習			○		ファッションデザインコース		
空間デザイン実習4-d	2			実習			○		テキスタイルデザインコース		
空間デザイン実習5-ab	2			実習			○		住環境/プロダクト コース共通		
空間デザイン実習5-cd	2			実習			○		ファッション/テキスタイル コース共通		
空間デザイン実習6-a	2			実習			○		住環境デザインコース		
空間デザイン実習6-b	2			実習			○		プロダクトデザインコース		
空間デザイン実習6-c	2			実習			○		ファッションデザインコース		
空間デザイン実習6-d	2			実習			○		テキスタイルデザインコース		

二級建築士・木造建築士受験資格科目については、コース別のガイダンスで履修について確認すること。

芸術学科 空間デザイン領域(住環境デザインコース、プロダクトデザインコース、ファッションデザインコース、テキスタイルアートコース)平成25(2013)年度以前入学生

カリキュラム	単位数			授業形態	開講期・年次				特記事項	取得可能ライセンス	専門科目卒業要件
	必修	選択必修	選択		1年	2年	3年	4年			
空間デザイン実習7-a		2		実習			○		住環境デザインコース		
空間デザイン実習7-b		2		実習			○		プロダクトデザインコース		
空間デザイン実習7-c		2		実習			○		ファッションデザインコース		
空間デザイン実習7-d		2		実習			○		テキスタイルデザインコース		
空間デザイン実習8-a		2		実習			○		住環境デザインコース		
空間デザイン実習8-b		2		実習			○		プロダクトデザインコース		
空間デザイン実習8-c		2		実習			○		ファッションデザインコース		
空間デザイン実習8-d		2		実習			○		テキスタイルデザインコース		
空間デザイン実習9		2		実習			○		空間領域共通科目		
空間デザイン実習10		2		実習			○		空間領域共通科目		

二級建築士・木造建築士受験資格科目については、コース別のガイダンスで履修について確認すること。

平成26(2014)年度以降入学生

平成25(2013)年度以前入学生  
空間デザイン領域

共通教育センター科目

芸術学科 空間デザイン領域 住環境デザインコース  
平成25(2013)年度以前入学生 スタンダードカリキュラム

		1年	2年	3年	4年	
		前	後	前	後	
実習系	基礎造形実習1B 布の立体造形 *領域共通科目	基礎造形実習3A ワンボード家具 FRPスピーカ *領域共通科目	空間デザイン実習1ab 言葉からの デザインアプローチ 住環境・PD共通科目	空間デザイン実習3 サイフィールドワーク ヨシ造形 *領域共通科目	空間デザイン実習5ab 光と水のデザイン 住環境・PD共通科目	空間デザイン実習7a フォーリー 遺跡博物館 住環境Dコース専門科目
	基礎造形実習2A 線・面・複合造形 *領域共通科目	基礎造形実習4A 織・籠・紙・フェルト *領域共通科目	空間デザイン実習4a 小公園・大地の改変 住環境Dコース専門科目	空間デザイン実習2a 照明・ショールーム 住環境Dコース専門科目	空間デザイン実習6a 小ギャラリー 子供のための空間 住環境Dコース専門科目	空間デザイン実習8a 劇的住宅の設計 住環境Dコース専門科目
演習系	空間基礎演習1 フィールドワーク入門 *領域共通科目	空間デザイン演習2 空間デザイン入門 *領域共通科目	空間デザイン演習1 断面図法と 空間ドローイング *領域共通科目	空間デザイン演習4ab 椅子の実測図面 住環境・PD共通科目	空間デザイン演習7ab コンペティション 課題 住環境・PD共通科目	空間デザイン演習10a 製図とドローイングによる デザインテーマの高度な表現 住環境・PD共通科目
	総合基礎演習1 他領域授業選択	総合基礎演習2 他領域授業選択	空間デザイン演習2a コルビジエの 住宅：模型・製図 住環境Dコース専門科目	空間デザイン演習5a パース図法 住環境Dコース専門科目	空間デザイン演習8a 製図とドローイングによる デザインテーマの表現 住環境Dコース専門科目	空間デザイン演習11a 住宅一般構造 住環境Dコース専門科目
			空間デザイン演習3a 住環境概論 住環境Dコース専門科目	空間デザイン演習6a ポートフォリオ 住環境Dコース専門科目	空間デザイン演習9a 講義：近代建築 デザイン論 住環境Dコース専門科目	
講義系			建築構造演習1 二級建築士受験 資格科目	ユーザインタ フェース概論 PDコース設定科目	デザイン マーケティング論 PDコース設定科目	住居と法律 二級建築士受験資格科目 住環境Dコース設定科目
			建築構造演習2 二級建築士受験 資格科目			建築施工 二級建築士受験資格科目 住環境Dコース設定科目
選択科目/64単位	PC基礎演習1	PC基礎演習2	PC基礎演習3	PC基礎演習4		
卒業時までには修得	日本建築史 二級建築士受験資格科目 住環境Dコース設定科目	西洋建築史 二級建築士受験資格科目 住環境Dコース設定科目	住宅論 二級建築士受験資格科目 住環境Dコース設定科目	住居論 二級建築士受験資格科目 住環境Dコース設定科目	都市論 二級建築士受験資格科目 住環境Dコース設定科目	

学芸員課程科目

教職課程科目

二級建築士受験資格講座科目

芸術学科 空間デザイン領域 プロダクトデザインコース  
平成25(2013)年度以前入学生 スタンダードカリキュラム

		1年 実4+演4=16単位		2年 実4+演6+講1=22単位		3年 実4+演5+講2=22単位		4年 実2+卒1=10単位	
		前	後	前	後	前	後	前	後
実習系	必修科目/64単位	基礎造形実習1B 布の立体造形 *領域共通科目	基礎造形実習3A ワンボード家具 FRPスピーカ *領域共通科目	空間デザイン実習1ab 言葉からの デザインアプローチ 住環境・PD共通科目	空間デザイン実習3 サフィールドワーク ヨシ造形 *領域共通科目	空間デザイン実習5ab 光と水のデザイン 住環境・PD共通科目	空間デザイン実習7b コミュニケーション 機器 PDコース専門科目	空間デザイン実習9b 社会問題とデザイン PDコース専門科目	卒業制作
		基礎造形実習2A 線・面・複合造形 *領域共通科目	基礎造形実習4A 織・籠・紙・フェルト *領域共通科目	空間デザイン実習2b 状況スケッチと デザインプロセス PDコース専門科目	空間デザイン実習4b 平面・キャラクタ 遊具・機構 FDコース専門科目	空間デザイン実習6b トランスポート ーション PDコース専門科目	空間デザイン実習8b 身体を支えるもの PDコース専門科目	空間デザイン実習10b 社会問題とデザイン PDコース専門科目	
演習系	必修科目/64単位	空間基礎演習1 フィールドワーク入門 *領域共通科目	空間デザイン演習2 空間デザイン入門 *領域共通科目	空間デザイン演習1 断面図法と空間 ドローイング *領域共通科目	空間デザイン演習4ab 椅子の実測図面 住環境・PD共通科目	空間デザイン演習7ab コンペティション 課題 住環境・PD共通科目	空間デザイン演習10b ユーザーインタ フェース PDコース専門科目		
		総合基礎演習1 他領域授業選択	総合基礎演習2 他領域授業選択	空間デザイン演習2b 製図基礎 ハンドワーク製図 PDコース専門科目	空間デザイン演習5b 設計基礎・CADに よる設計 PDコース専門科目	空間デザイン演習8b 先端技術 ワークショップ PDコース専門科目	空間デザイン演習11b 評価基準・UD設計 FDコース専門科目		
講義系	選択科目/60単位 準必修であるが、 選択できる科目				生産技術論 PDコース設定科目	ユーザインタ フェース概論 PDコース設定科目	デザイン マーケティング論 PDコース設定科目		
		PC基礎演習1	PC基礎演習2	PC基礎演習3	PC基礎演習4				

芸術学科 空間デザイン領域 テキスタイルアートコース  
平成25(2013)年度以前入学生 スタンダードカリキュラム

		1年 実4+演4=16単位		2年 実4+演6=20単位		3年 実4+演5=18単位		4年 実2+卒1=10単位	
		前	後	前	後	前	後	前	後
実習系	必修科目/64単位	基礎造形実習1B 布の立体造形 *領域共通科目	基礎造形実習3A ワンボード家具 FRPスピーカ *領域共通科目	空間デザイン実習1cd シルクスクリーン プリント FD・テキ共通科目	空間デザイン実習3 フィールドワーク ヨシ造形 *領域共通科目	空間デザイン実習5cd コンセプトに基づく 作品制作 FD・テキ共通科目	空間デザイン実習7d 進級製作 TAコース専門科目	空間デザイン実習9d 自由課題 TAコース専門科目	卒業制作
		基礎造形実習2A 線・面・複合造形 *領域共通科目	基礎造形実習4A 染色・フェルト・かご *領域共通科目	空間デザイン実習2d 織物基礎 TAコース専門科目	空間デザイン実習4d タペストリーの制作 TAコース専門科目	空間デザイン実習6d 技法からの発想に よる制作 TAコース専門科目	空間デザイン実習8d 進級製作 TAコース専門科目	空間デザイン実習10d 自由課題 TAコース専門科目	
演習系	必修科目/64単位	空間基礎演習1 フィールドワーク入門 *領域共通科目	空間デザイン演習2 空間デザイン入門 *領域共通科目	空間デザイン演習1 断面図法と空間 ドローイング *領域共通科目	空間デザイン演習4cd 染色実験 FD・テキ共通科目	空間デザイン演習7cd 素材研究 FD・テキ共通科目	空間デザイン演習10d 講義:テキスタイル アートの現在 TAコース専門科目		
		総合基礎演習1 他領域授業選択	総合基礎演習2 他領域授業選択	空間デザイン演習2d フェルトメイキング 空テ演習3dと隔週開講 FDコース専門科目	空間デザイン演習5d 組織 空テ実習2dを 履修済のこと TAコース専門科目	空間デザイン演習8d 講義:世界の染織 TAコース専門科目	空間デザイン演習11d 商品企画 TAコース専門科目		
選択科目/60単位 準必修であるが、 選択できる科目	必修科目/60単位	PC基礎演習1	PC基礎演習2	PC基礎演習3	PC基礎演習4	空間デザイン演習9d 布の制作・コンピュータビ 空テ演習5dと同時履修 空テ実習2dを履修済のこと TAコース専門科目			



芸術学科 空間デザイン領域 ファッションデザインコース  
平成25(2013)年度以前入学生 スタンダードカリキュラム

		1年 実4+演4=16単位		2年 実4+演6+講3=26単位		3年 実4+演5=18単位		4年 実2+卒1=10単位	
		前	後	前	後	前	後	前	後
実習系	必修科目/64単位	基礎造形実習1B 布の立体造形 *領域共通科目	基礎造形実習3A ワンボード家具 FRPスピーカ *領域共通科目	空間デザイン実習1cd シルクスクリーン プリント FD・テキ共通科目	空間デザイン実習3 サフィールドワーク ヨシ造形 FD・テキ共通科目	空間デザイン実習5cd コンセプトに基づく 作品制作 FD・テキ共通科目	空間デザイン実習7c オリジナル作品 企画・制作 FDコース専門科目	空間デザイン実習9c 卒制に向けた制作 FDコース専門科目	卒業制作
		基礎造形実習2A 線・面・複合造形 *領域共通科目	基礎造形実習4A 織・籠・紙・フェルト *領域共通科目	空間デザイン実習2c パターン縫製技術1 FDコース専門科目	空間デザイン実習4c FDコース専門科目	空間デザイン実習6a ブランド企画 FDコース専門科目	空間デザイン実習8c 自由課題 企画 FDコース専門科目	空間デザイン実習10c 卒制に向けた制作 FDコース専門科目	
演習系	必修科目/64単位	空間基礎演習1 フィールドワーク入門 *領域共通科目	空間デザイン演習2 空間デザイン入門 *領域共通科目	空間デザイン演習1 断面図法と空間 ドローイング *領域共通科目	空間デザイン演習4cd 染織実験 FD・テキ共通科目	空間デザイン演習7cd 素材研究 FD・テキ共通科目	空間デザイン演習10c 課題制作における パターン演習 FDコース専門科目		
		総合基礎演習1 他領域授業選択	総合基礎演習2 他領域授業選択	空間デザイン演習2c ファッション デザインの基礎 FDコース専門科目	空間デザイン演習5c ショッププランニング FDコース専門科目	空間デザイン演習8c ビジュアル マーチャライジング FDコース専門科目	空間デザイン演習11c 企業研究 FDコース専門科目		
講義系	選択科目/60単位			ファッション マーケティング論 FDコース設定科目	ファッション デザイン史 FDコース設定科目				
				ファッション デザイン論					
	選択であるが、 必修扱いの科目	PC基礎演習1	PC基礎演習2	PC基礎演習3	PC基礎演習4				

平成26(2014)年度以降入学生

平成25(2013)年度以前入学生  
空間デザイン領域

共通教育センター科目

学芸員課程科目

教職課程科目

二級建築士受験資格講座科目

# 共通教育センター科目(学部共通科目)

## 共通教育センター科目(学部共通科目)

共通教育センター科目(学部共通科目)とは、基礎科目群、応用科目群、社会実践科目群、教養科目群から構成され共通教育センター所属の教員がこの科目群をバックアップしています。

### ①基礎科目群

芸術大学に進学した学生が等しく身につけるべき知識や技能を修得するために1年生全員が学ぶ科目で以下の科目で構成されます。

**スタートプログラム科目**……4年間の大学生活を自主的かつ円滑に進めるために必要な基礎学力を身につけるための科目です。

**芸術基礎科目**……芸術に対する認識の基盤となる理論の初歩を幅広く学び、広範な造形活動を支えるための科目です。

**ファウンデーション科目**……所属する領域に関係なく複数クラスに編成して、専門分野の枠を超えた教員組織の指導のもと、美術経験の多少にかかわらず、表現することの面白さを体感することを通して芸術学部共通の造形基礎を学ぶ科目です。「描く」「つくる」「発想する」の3つの基本的なテーマに沿って、実技、講義、ワークショップ、発表、合評などで授業を構成し、表現課程での工夫や発見を通して、視野を広げていく楽しさと柔軟な思考を養う「ファウンデーション実習A」やコンピュータの基礎を学ぶ「ファウンデーション実習B」があります。

### ②応用科目群

広範な芸術活動の専門性を理論的、実践的に支え、各領域の専門基盤課程、専門研究課程において必要とされる専門的知識・技能を養うために必要不可欠な科目群です。

### ③社会実践科目群

「芸術による社会への貢献」を実践する科目群で自分の将来の姿を実現に近づけるための、キャリア支援科目と芸術による社会貢献を実現するプロジェクトを単位化する地域貢献・プロジェクト科目があります。

### ④教養科目群

各学生の専門や志向に有益な学問領域について自主的に学ぶことができる科目群で、教養科目、外国語科目、単位互換事業科目で構成されます。

共通教育センター科目(学部共通科目) 全学適用

科目一覧	学 芸 員	教 職	単位数		授 業 形 態	配当学年 (望ましい履修学年)				特記事項
			必修	指定 科目 選択		1 年	2 年	3 年	4 年	
基礎科目群 ファッション科目	ファッション実習A1			1	実習	○				1年次に6科目6単位を修得すること
	ファッション実習A2			1	実習	○				
	ファッション実習A3			1	実習	○				
	ファッション実習A4			1	実習	○				
	ファッション実習B1	必修		1	実習	○				
	ファッション実習B2	必修		1	実習	○				
	ファッション実習C1				1	実習	○			
	ファッション実習C2				1	実習	○			
	プレファッション実習1				1	実習	○	○	○	
プレファッション実習2				1	実習	○	○	○		
基礎科目群 スマートフォン科目	大学入門1			1	演習	○				1年次に6科目6単位以上修得すること
	大学入門2			1	演習	○				
	スタディスキル実習1			1	実習	○				
	スタディスキル実習2			1	実習	○				
	スタディスキル実習3			1	実習	○				
基礎科目群 芸術基礎科目	東洋・日本美術史概説A	選択	必修	2	講義	○	○			1年次に4科目8単位以上修得すること
東洋・日本美術史概説B	選択	選択	2	講義	○	○				
西洋美術史概説A	選択	必修	2	講義	○	○				
西洋美術史概説B	選択	選択	2	講義	○	○				
デザイン史概説A	選択	選択	2	講義	○	○				
デザイン史概説B	選択	選択	2	講義	○	○				
応用科目群 芸術応用科目	イラストレーション概論			2	講義	○	○			① 所属する領域の理論科目を5科目10単位以上修得すること 総合領域学生は、各自の学びの流れに従って理論科目を5科目10単位以上修得すること ② ①以外の科目を2科目4単位以上受講すること
	イラストレーション論1			2	講義	○	○			
	イラストレーション論2			2	講義	○	○			
	イラストレーション論3			2	講義			○		
	イラストレーション論4			2	講義			○	○	
	美術概論	必修		2	講義	○	○			
	美術論1			2	講義		○			
	美術論2			2	講義		○			
	美術論3			2	講義			○		
	美術論4			2	講義			○		
	メディアデザイン概論			2	講義	○	○			
	メディアデザイン論1			2	講義		○	○		
	メディアデザイン論2			2	講義		○	○		
	メディアデザイン論3			2	講義		○	○		
	メディアデザイン論4			2	講義		○	○		
	空間デザイン概論			2	講義	○	○			
	空間デザイン論1			2	講義		○	○		
	空間デザイン論2A			2	講義		○	○		
	空間デザイン論2B			2	講義		○	○		
	空間デザイン論2C			2	講義		○	○		
	空間デザイン論2D			2	講義		○	○		
	空間デザイン論2E			2	講義		○	○		
	空間デザイン論2F			2	講義		○	○		
	現代デザイン論A			2	講義	○	○	○		
	現代デザイン論B			2	講義	○	○	○		
	現代美術論A	選択		2	講義	○	○	○		
	現代美術論B	選択		2	講義	○	○	○		
	絵画材料科学			2	講義	○	○	○		
	メディアアート概論			2	講義	○	○	○		
	日本美術史A	選択		2	講義	○	○	○	○	
	日本美術史B	選択		2	講義	○	○	○	○	
	西洋美術史A	選択		2	講義	○	○	○	○	
	西洋美術史B	選択		2	講義	○	○	○	○	
	日本建築史			2	講義	○	○	○	○	
	西洋建築史			2	講義	○	○	○	○	
	工芸史	選択		2	講義	○	○	○	○	
	図法演習			2	演習	○	○	○	○	
	色彩演習			2	演習	○	○	○	○	
	人体表現演習			2	演習			○		
	彫刻演習	選択		2	演習	○	○	○	○	
	工芸演習	選択		2	演習	○	○	○	○	
	絵画演習	選択		2	演習	○	○	○	○	
デザイン演習	選択		2	演習	○	○	○	○		
芸術鑑賞A			2	講義	○	○	○	○		
芸術鑑賞B			2	講義	○	○	○	○		
特別講義1			1	講義	○	○	○	○		
特別講義2			1	講義	○	○	○	○		
特別講義3			1	講義	○	○	○	○		
特別講義4			1	講義	○	○	○	○		
特別講義5			1	講義	○	○	○	○		
選択科目群 教養科目	自然科学概論A			2	講義	○	○	○	○	
	自然科学概論B			2	講義	○	○	○	○	
	自然科学概論C			2	講義	○	○	○	○	
	自然科学概論D			2	講義	○	○	○	○	
	社会学A			2	講義	○	○	○	○	
	社会学B			2	講義	○	○	○	○	
	現代社会論A			2	講義	○	○	○	○	
	現代社会論B			2	講義	○	○	○	○	
	法学(日本国憲法)	必修		2	講義	○	○	○	○	
	人権教育	必修		2	講義	○	○	○	○	
	ボランティアワーク1	必修		1	演習	○				
	ボランティアワーク2	必修		1	実習	○				
	哲学A			2	講義	○	○	○	○	
	哲学B			2	講義	○	○	○	○	
	宗教学A			2	講義	○	○	○	○	
	宗教学B			2	講義	○	○	○	○	
	文化人類学A	選択		2	講義	○	○	○	○	
	文化人類学B	選択		2	講義	○	○	○	○	

平成26(2014)年度以降入学生

平成25(2013)年度以前入学生

共通教育センター科目

学芸員課程科目

教職課程科目

二級建築士受験資格講座科目

平成26(2014)年度以降入学生

平成25(2013)年度以前入学生

共通教育センター科目

学芸員課程科目

教職課程科目

二級建築士受験資格講座科目

科目一覧	学芸員	教職	単位数		授業形態	配当学年 (望ましい履修学年)				特記事項		
			必修	指定科目		1年	2年	3年	4年			
教養科目	文化史A	選択			2	講義	○	○	○	複数開講、通年開講、集中科目等について特記 等		
	文化史B	選択			2	講義	○	○	○			
	心理学A				2	講義	○	○	○			
	心理学B				2	講義	○	○	○			
	深層芸術心理学A				2	講義	○	○	○			
	深層芸術心理学B				2	講義	○	○	○			
	考古学A	選択			2	講義	○	○	○			
	考古学B	選択			2	講義	○	○	○			
	美学A				2	講義	○	○	○			
	美学B				2	講義	○	○	○			
	人間関係実習A				1	実習	○	○	○			
	人間関係実習B				1	実習	○	○	○			
	健康体力論	選択			2	講義	○	○	○			
	スポーツ実習A	選択			1	実習	○	○	○			
	スポーツ実習B	選択			1	実習	○	○	○			
	スポーツ実習C	選択			1	実習	○	○	○			
スポーツ実習D	選択			1	実習	○	○	○				
スポーツ実習E	選択			1	実習	○	○	○				
外国語科目	英語入門Ⅰ				1	実習	○	○		① コミュニティデザイン概論を修得のこと ② ①以外の科目を1科目2単位以上受講すること		
	英語入門Ⅱ				1	実習	○	○				
	英語A	選択			1	実習	○	○	○			
	英語B	選択			1	実習	○	○	○			
	英語C	選択			1	実習	○	○	○			
	英語D	選択			1	実習	○	○	○			
	英語E				1	実習	○	○	○			
	英語F				1	実習	○	○	○			
	英語G				1	実習	○	○	○			
	英会話A	選択			1	実習	○	○	○			
	英会話B	選択			1	実習	○	○	○			
	英会話C	選択			1	実習	○	○	○			
	英会話D	選択			1	実習	○	○	○			
	英会話E				1	実習	○	○	○			
	日本語A				1	実習	○					
	日本語B				1	実習	○					
日本語C				1	実習		○					
日本語D				1	実習		○					
地域貢献・プロジェクト科目	コミュニティデザイン概論			2	講義		○			① コミュニティデザイン概論を修得のこと ② ①以外の科目を1科目2単位以上受講すること		
	コミュニティデザイン論1			2	講義		○	○	○			
	コミュニティデザイン論2			2	講義		○	○	○			
	琵琶湖の民俗史	選択			2	講義	○	○	○			
	近江学A				2	講義	○	○	○			
	近江学B				2	講義	○	○	○			
	プロジェクト演習1A~1E				2	演習	○					
	プロジェクト演習2A~2E				2	演習		○				
	プロジェクト演習3A~3E				2	演習			○			
	プロジェクト演習4A~4E				2	演習			○			
	キャリアデザイン科目	キャリアデザイン概論1			1	講義	○					① キャリアデザイン概論1及び2を修得のこと ② ①以外の科目を1科目2単位以上受講すること
		キャリアデザイン概論2			1	講義	○					
		キャリアデザイン論A			2	講義		○	○			
		キャリアデザイン論B			2	講義		○	○			
		就業力育成論1			1	講義		○				
		就業力育成論2			1	講義		○				
就業力育成論3				1	講義			○				
就業力育成論4				1	講義			○				
就業力育成演習A				2	演習		○					
就業力育成演習B				2	演習		○					
就業力育成演習C				2	演習			○				
就業力育成演習D				2	演習			○				
ポートフォリオ演習				2	演習			○				
インターンシップA				2	実習		○	○				
インターンシップB				2	実習			○				
コンピュータ実践講座A				1	実習		○	○	○			
コンピュータ実践講座B			1	実習		○	○	○				
英語実践講座A			1	実習		○	○	○				
英語実践講座B			1	実習		○	○	○				
英語実践講座C			1	実習		○	○	○				
色彩実践講座A			1	実習		○	○	○				
色彩実践講座B			1	実習		○	○	○				

## ■ プロジェクト演習について

「芸術による社会への貢献」を教育理念とする本学では、地域貢献活動を具現化するために「結ぶ、つなげる、広げる」をテーマに、「学生・教員の教育、研究に貢献していること」「連携先の社会活動に貢献していること」「大学を含む地域社会全体に貢献していること」という3つの貢献を包括する事業をプロジェクトとして展開しています。

その中でも、学生の教育や教員の研究に資する内容があるものについては、本学の教育カリキュラムの一環として「プロジェクト演習」という科目(2単位の認定科目)を設定して、単位認定を行っています。

科目名は、「(例)プロジェクト演習1A」と呼び、数字「1」の部分は受講時期に合わせた学修目標のレベルを示し、アルファベットはプロジェクトの内容に準じるカテゴリを意味します。(下記を参考にしてください)

### プロジェクトの受講時期に合わせた学修目標のレベル表

	専門導入課程	専門基盤課程		専門研究課程
	1年生	2年生	3年生	4年生
	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
科目名	プロジェクト演習1A	プロジェクト演習2A	プロジェクト演習3A	プロジェクト演習4A
	プロジェクト演習1B	プロジェクト演習2B	プロジェクト演習3B	プロジェクト演習4B
	プロジェクト演習1C	プロジェクト演習2C	プロジェクト演習3C	プロジェクト演習4C
	プロジェクト演習1D	プロジェクト演習2D	プロジェクト演習3D	プロジェクト演習4D
	プロジェクト演習1E	プロジェクト演習2E	プロジェクト演習3E	プロジェクト演習4E

### プロジェクトのカテゴリ

A:歴史・地域 B:デザイン C:文化・芸術 D:教育・福祉 E:プロデュース

### 学修目標のめやす

学修目標は学年ごとに設定された以下の学修目標と、カテゴリごとの開講目的への理解などから構成されます。以下の学修目標は一般的な一例です。プロジェクトによってその内容は変わります。

< 学年 >

< 目標例 >

- 1年生 …… 積極的にプロジェクトに参加し、共同作業を行う
- 2年生 …… 与えられた役割を理解し、自らの意思で作業を行う
- 3年生 …… 参加するプロジェクトの内容を理解し、企画・立案ができる
- 4年生 …… リーダーとしてプロジェクトを牽引する、またはフォロワーとしてプロジェクトを遂行する  
地域文化とその背景を理解し、自らの表現が社会と対峙できているかを理解できる

### プロジェクト科目の履修登録から単位認定まで

プロジェクト科目は履修登録ガイダンス時に、開講するプロジェクトのシラバスを公開します。

⇒シラバスを確認して履修登録を行います。

⇒初回の授業で担当教員からガイダンスを受けます。

⇒ガイダンスでは、「プロジェクトレポート」の説明を受けます。

⇒「プロジェクトレポート」とは、そのプロジェクトにおける自分の目標や、進行状況や取り組み状況、プロジェクトの結果、まとめなどを写真や図表も交えてわかりやすくまとめるポートフォリオのようなものです。授業が開始すると同時にレポートの作成を始めます。

⇒プロジェクトが終了したら、担当教員の指示を受け、指定の期日までに「プロジェクトレポート」を教務課に提出します。

⇒担当教員がレポートを確認して到達目標を判断し、目標レベルに到達していると判断されれば「認定」となり、成績表には「N」と記され、2単位が取得単位として認定されます。

### 平成28年度に開講が予想されるプロジェクト

- ・近江里山フィールドワーク(担当:今森光彦客員教授監修)
- ・大津祭曳山連盟公式キャラクター「ちま吉」プロジェクト(担当:田中真一郎)
- ・大津市歴史博物館おもちゃづくりワークショッププロジェクト(担当:宇野君平)
- ・実践デザインプロデュースプロジェクト(担当:大草真弓)

他、合計15科目程度のプロジェクト演習が開講される予定です。3月末の履修登録ガイダンスで募集を開始します。